

291.36
T.9589



223039

自序

文明日新の今日に當つて百般の事物其舊習を變するもの幾許あるやを辨せず、而して東京地理の如きも市區改正に中りて即ち面目を一新す、然るに東京獨案内と題するの書を見るに多くは江戸名所、江戸砂子等の舊記に泥みて明治進歩の新記たる事を掲す、之れ如何ある故ありや、夫れ舊記によりて事を取らば、則ち以て其物たる陳腐に屬するは敢て論を俟ざる所あり、偶々名言を吐露するの一二書あり採りて以て之れを閱せば即ち明治廿年前の舊説を擧げたるものあり、予大に考ふるあり、先んすれば以て人を制す、後るれば以て人に制せらる、宜哉、夫醫術の進歩、工藝の獎勵、商業的の變動、等を擧れば今日の新なるは明日に舊し、是れ即ち治世を然しむる處なり、況ん哉東京案内の如きもの、亦た敢て舊を追ふて之れを如何にせん、其云れ數多あり、内閣諸大臣の更迭、諸官吏の變動、會社商社社長頭取の撰人の勿論、銀行の盛衰等之を擧るに遑なし、然をや、舊きを以て是れ等の事物を掲れば其益す

自序

る所何の爲めにかある、之れ予が大に鑒る處なり、書肆兼志堂主人、亦感ずる處あり、爲めに予に託して東京實地獨案内を編しむ、予筆耕の勞を採るに半途にして轉筆を投すること再三、之れ如何なる故に、即ち以て昨日の勞、ハ今日の腐あるを知らばなり、茲に至り、嗟嘆すること數度、漸くにして亦た筆を起す、即ち熟考して以て此書を編纂す、此書たるや都鄙士人の最も肝要として欠可からざる實業を脱漏なく筆に任して實地經驗と見聞に就いて正せし書あり、故に其無用を省き、其有要を摘み、殊に新聞紙或ひハ華族名鑑、官員餘等の如き、他に之れに變るの書あるを掲せず、勉めて其案内に就きて益せんと欲する事柄を掲ぐ、然らば之れを以て、今日の出來事、明日の陳腐たるを求むるなし、獨此書に就きて其案内を需むれば益亦た些からざるを證す即ち序旨に換て本書の大畧を記する已嗚呼

明治廿五年六月中浣

江東の隱士

一二三散史漫記

凡例

予今回此篇を著すに當りて先んずるものは想像なり、想像とは地方人の出京して府下の事情を知らしむるに依り故に務て平易簡短を旨とせばあり

一地方の人出京して東京の地理事情に悟らざれば無益の勞を取り金錢を費して以て人に鈍せらるゝあり、之予が大に痛嘆に堪ずよりて是れ等の事柄に就きては尤も緻密に尤も深切に案内の便をなせり

一府下全体の實況を知らんと欲せば此書を編き首尾通續なざる可からず地理、名所、里程、買物、官省、學校、會社、銀行、病院、醫師、辯護士、諸名家、飲食店、旅亭、劇場、演說會、寄席及び諸藝人、其他馬車、蒸氣車、人力車の乗車方、電信、電話、懸方等一も實業に裨益あるは余さず殘さず百事此書中に編入するのみならず其部門々々には一々注意又ハ明瞭に手續を示し少しも差支なきことを保證す以て東京實地獨案内と號くる所以なり

凡例

一東京獨案内あるもの出版既に其幾十種あるを辨せざると雖も其益するものは特に稀あり、予此實地獨案内を編纂するに當りて今古既に出版せる書數十種と披閱するに何れも大同小異にして或は舊蹟によりて案内し或は諸官員の邸宅及び市會議員府會議員の姓名又は博士學士等の姓名住所を記載する如きは府下案内として必用の無きものなり、其他華族の邸宅等に至るも敢て東京案内に必用なし若し是等の事に就きて取調を爲さんと欲せば官員録、華族名鑑、又日々發行に係る新聞紙に就きて一覽すれば分明せり斯る無用の事柄を掲載するもの東京案内として何ぞ見る可きの必用あらんや、亦た曰ふ夫れ舊蹟の如きは既往は知らず將來に到つて市區の改正に就きて府下之れと認るの感なきに云ふまでもなし特に地方より府下の名所を觀物に來る者何ぞ繁華の地を棄る舊蹟を探んや、舊蹟の多く閑靜の地にあり閑靜の地を探らんとする者何ぞ出京の勞を以て地方より來る可き云れなし是等は畢竟其著者たる人の僻に出て多く讀者に取りて益なきと信するは敢て予が云ふまでもなし或

諸商店の如きを案内するに僅に千を以て一に變ゆるの諸店を記載して買物案内と爲すが如きは愚も亦甚だしと云ふべし、府下屈指の商店たる万を以て數ふるも猶余りあり、文明の帝都些少の區域ならざる事は彼吾の能く知る處なり故に余は商店の如き其盡し難きものの一々之を掲せず皆に買物に就きて尤も便利にして尤も實益ある處を示すに過すよりて讀者便宜の爲に於て宜く買物すべし仮令ば大店、小店等の如きあらば大店に就きて買物すれば是れ果して掛引のあらざるに予が保證する處なり亦た買物案内、或は商人録亦云る書あれども大部にして懷中に便ならず唯だ座右に置ひて披閱するに過す、是れ亦た不便の甚だ敷ものと云はざるを得ず予、黨志堂主人の依頼に應じて、此篇を起草するに尤も深く苦慮するは右の件々あり

一獨案内と號くるの書年々歳々改正を加へざれば其用を辨せざるものは則ち右に述るが如き書を指して云へり予が編輯の如きは然らず唯會社、商社の部門社長頭取の改撰あるのみ其余案内に就きて有益なるもの改正の愛ひあし是れ讀者に取りて得策あり

る已
 一予が編纂する所の實地獨案内予が思想を凝して著作する所にして些に一冊子を以て百事を含蓄する等讀者宜く其意味を味へ玉へ
 一部門の前段に於て「注意」とあるは案内上に就きて尤も必用と爲す可きなれば「注意」又解釋の附言は記憶して置かざる可からず
 一日本橋より地方へ何里亦何十丁と記するか如きは測量上に就きて之を定むるに非れば分明せず故に凡その事を知るべし左に目錄あり之れによりて索引すべし

明治廿六年十月下浣

編者 識

新編 東京實地案内目次

● 東京各所圖書	初丁	● 毎日朝市	全
● 東京現今之記	二丁	● 東京名所案内附神社佛閣詣	廿三丁
● 宮城	三丁	● 區郡役所の位地	八十八丁
● 諸官省案内	六丁	● 憲兵屯營分所位地	全
● 各國公使館	八丁	● 警察署の位地 附注意	八十九丁
● 名所案内注意	九丁	● 五大劇場附小劇場附注意	九十丁
● 全 表目 附丁數里程	二十丁	● 演說集會席	九十二丁
● 府下六公園及び六大橋	二十一丁	● 講談落語寄席	全
● 四季遊覽場	廿二丁	● 郵便電信支局附遞信省令	九十四丁
● 府下の名産	廿三丁	● 小包郵便料	九十七丁
		● 電話案内	百丁
		● 鐵道馬車案内	百一丁

●馬車人力車案内	全
●府下新聞社地位	百二丁
●勤工場	全
●飲食店案内 附注意	百四丁
●買物案内場所	百二十丁
●仕入問屋向場所	百廿一丁
●旅亭案内 附注意	百廿二丁
●相撲取組場所	百廿八丁
●温泉案内	全
●府下諸藝人藝名	百廿九丁
●五大劇場出勤の俳優	小劇場出勤の俳優
●女子俳優	●書生
●新俳優	●講談

●師	●落語家	●音曲	●手術師	●人形浪
●花節	●義太夫	●三味線引	●女義太夫	
●遊廓の所在				百卅五丁
●藝妓所在地				全
●待合茶屋案内				百卅六丁
●隅田丸大川間往復賃金表				百卅七丁
●諸方乗合馬車發車時間				全
●并に賃金表				
●府下品物配達案内				百卅八丁
●雇人請宿案内				百卅五丁
●有明寫真師				全
●郵船會社荷物取扱所				百四十丁

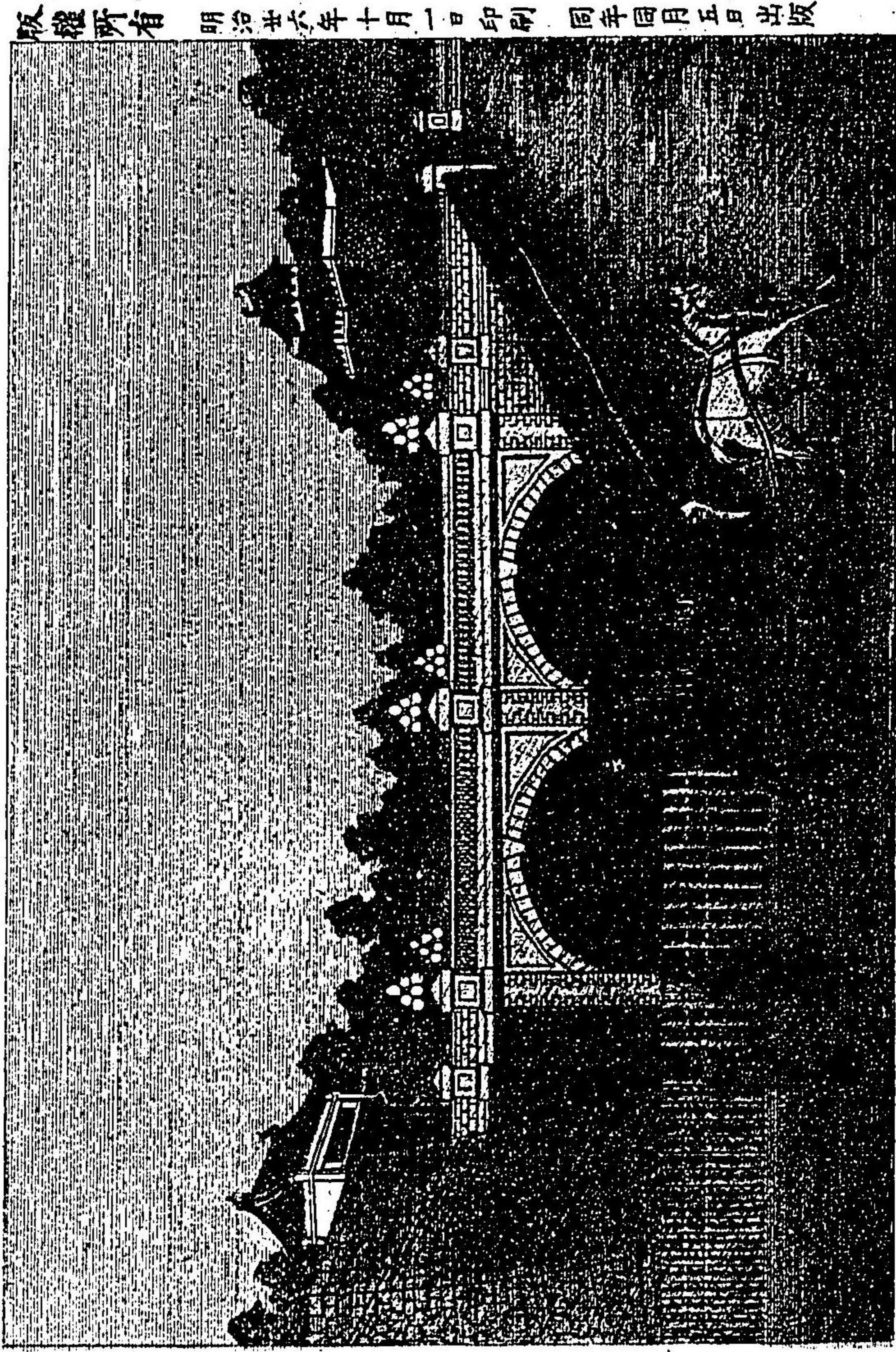
●郵船會社乗船賃金表	全
●内國通運會社賃金表	全
●鐵道乗車時間賃金表	全
●官私立諸學校案内附科目	百四十二丁
●雷名書畫文人一覽	百五十三丁
●府下病院入院料並に手續	百五十九丁
●府下有名の醫師案内	百六十三丁
●東京有名辨護士事務所案内	百六十四丁
●國私立銀行案内	
●會社、商社、並に營業事務	

とすに當りては此目録飲食店百四丁と標せる丁數を以て本文百四丁目を索むれば飲食店あるが如し亦た買物には百二十丁とある處を見れば其買物の場所たる悉く此部門に掲すが如し以下押して知るべし

一觀物を爲さんとすに當りて道路の知れ離きは首丁の東京略圖によりて其至らんとする場所にあて、求むべし然せば其地を知ること亦た容易あるべし

一場合によりて重復に亘ることあるにあらぬ之讀者をして其満足と與ふる爲す

稿重二居皇



VIEW OF MIKADOS PALACE IN TOKYO

版權所有 明治廿六年十月一日印刷 同年同月五日出版

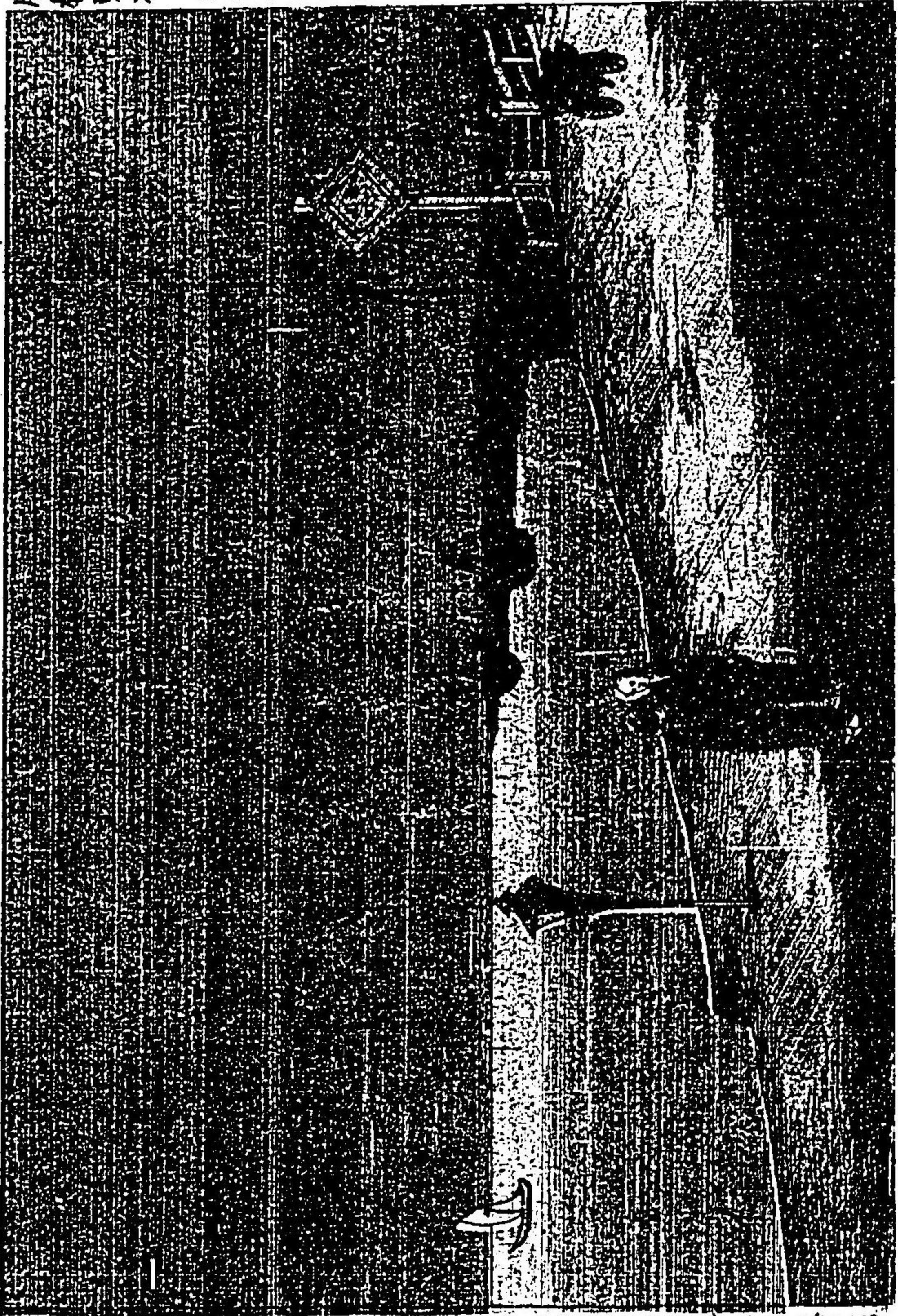
西佐兼印刷者 下谷區二更町三番地 新井藤次郎
 發行 者 東橋區南樹屋町一番地 井上藤五郎

撰新 東京實地案内目次 終

れハ敢て怪むなかれ
 一重復のケ處は僅かに二三に過す余ハ悉く重復あし

目錄

景遠又島佃

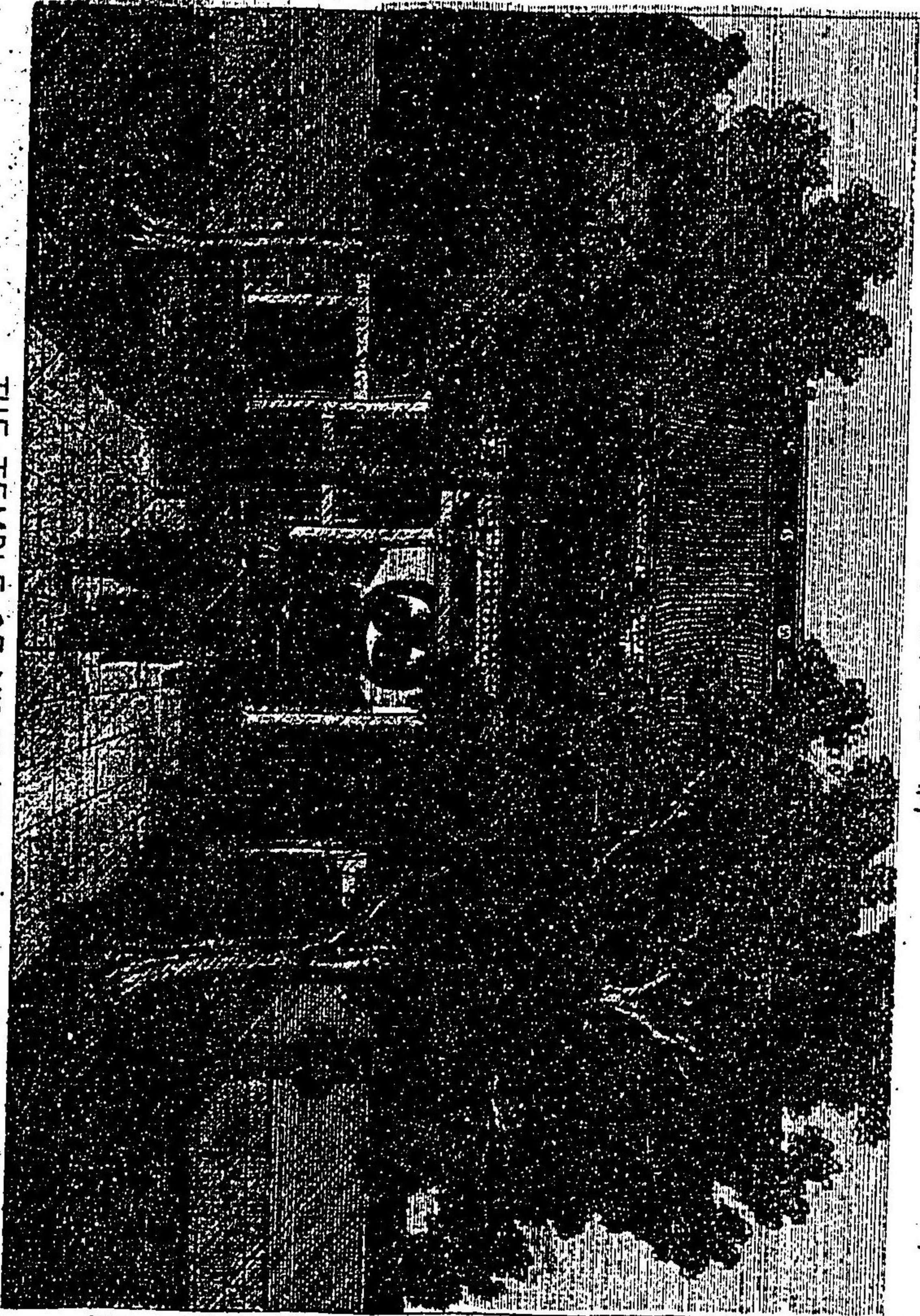


版權所有 明治廿六年十月一日印刷 同年同月五日出版

西作畫印刷者 下谷區二皇町三番地 新井藤次郎
發行 者 京橋區南船場一番地 井上勝五郎

LOOKS AT TUKUDAJIMA IN TOKYO

THE TEMPLE OF MIJIN IN KANDA



西作畫印刷者 下谷區二皇町三番地 新井藤次郎
發行 者 京橋區南船場一番地 井上勝五郎

版權所有 明治廿六年十月一日印刷 同年同月五日出版

神 明 田 神



THE HYOGOKU BRIDGE

新橋東門前
下谷區二町三番地
新橋東門前
井上藤五郎

版權所有 明治廿九年十月一日印刷 同年四月五日出版

新撰 東京實地案内

東都 一二三散史稿

●東京現今之記

東京は武蔵國の東南豐島郡に位し荏原、葛飾の二郡に跨り東西二里六丁南北二里二十九丁東に隅田川有り南に品川灣を隔て、海運を便にす既往徳川氏の世、此地を分て八百八丁たり明治戊辰 天皇鳳蓋を東下し尋で王政と爲し府を置きて大小の區を分つ後廢して十五區六郡と爲す、全廿二年亦大に市區を改正す以て現在の市街町數一千五百余ありと戸數凡三十七万余、人口凡百七十三万余、神社凡二百余、寺院凡一千六百八十ヶ所、佛閣凡一百廿八宇、實に日本第一等にして世界六大都の一あり官舎の廣麗、煉瓦の築造雲霞に聳へ、電信電話の架線、宛然蛛網の如く旭日に映じて瞬く、到る處市街の景況商賈櫛を連ねて繁昌せざるはなく往還の馬車、腕車軌轢

東京現今之記

して縦横に走り、鐵道馬車の線路は旅客の道知邊を爲し亦夜間に至れば瓦斯電氣の光映赫々として市街を照すは恰も此れ白晝に異ならず内外通商の繁務、來船貿易の混雜、内海に輻湊し涼車の便利瞬間數十里を走る等一々枚舉に遑わらず、眞に此れ文明進歩の帝都、開化隆盛の國勢と云ざる可けん哉嗚呼

●宮城

宮城は東京の中央にして桃田に屬せり周圍廿五丁余四方皆外濠を以てす、蓄之を江戸城と稱して徳川氏の居あり東西二城に分つ東を本丸西を西丸と云、大手、内櫻田、平河、半藏の諸門あり城西に吹上の御苑と稱するあり山水の幽雅、風致の佳絶たるは敢て亦九言能はず明治戊辰徳川氏太政を奉還の後ち 天皇東臨ありて之を皇居と定む城廓の堅牢ある實に海内無双ありと全六年禁闕火あり爲めに赤坂離宮へ遷御せらる全十七年工事に着手し廿一年十月造營全く成る廿二年還御ありて後ち皇居を改め以て宮城と號らるゝと云ふ

●諸官省の案内

- 内閣 宮城の内にあり人民の通行を許さず此官ハ十八年十二月太政官を廢して建置かれし閣にして、總理大臣を始め各省の諸大臣登閣し、以て國政の機務を會議し、奏上及び敕旨を承て諸般の政事を統轄す●官報局等すべて此官の附屬たり
- 宮内省 全上 宮中の諸事、及び皇族、華族、職員等を統轄する官衙あり
- 樞密院 全上 天皇陛下臨御あらせられ、大臣及び諸議院をして天下、重要な諸事を諮詢せらるゝ所なり
- 内務省 大手町二丁目にあり、内國行政の事務及び天文、地理、社寺、戶籍、土木、衛生、圖書、出版、版權等を管理す●地理局●東京衛生試験所●東京集治監等は此官の附屬たり
- 外務省 霞ヶ關壹丁目にあり外國交際及び諸貿易の事務を主任する官衙たり
- 大藏省 大手町壹丁目にあり我全國金穀の租稅及び諸官省の出納に關する一切の

財務を管理す●印刷局●關稅局等は此官の附屬たり

●司法省 八重洲町二丁目にあり我國立法權を監督する役所にして●大審院●控訴院●地方裁判所等總て此官の附屬たり

●陸軍省 永田町一丁目にあり陸軍の軍事并に兵馬に關する一切の軍制を總理監督す●近衛●第一師團●憲兵司令部●軍法會議●砲兵工廠●砲兵第一方面●工兵第一方面●臨時砲臺建築部等皆此省の附屬なり

●海軍省 溜池葵町にあり海軍の軍事、軍艦及び、水兵等總て海軍に關する一切の軍務を監督す●造兵廠●管製鋼所●火藥工廠●中央衛生會議●軍法會議等此省の附屬なり

●參謀本部 永田町一丁目にあり海陸軍の軍事に關する謀計を主と爲す處なり

●文部省 竹橋際にあり文學教育に關する一切の事務を主轄す●東京大學及び其他官立に關する諸學校等皆此省の管轄あり

●農商務省 京橋區采女町にあり山林、地質、鑛山、漁獵、其他農工商に關する美術品の賞牌及び營業上專賣特許の諸事を主任す●總務局●分析課●地質局●山林局等皆な此省の附屬あり

●會計檢査院 錢龜町一番地にあり官金の出納及び官有物、國債等に關する會計の檢査を主任する處なり

●逓信省 木挽町八丁目にあり郵便、電信、電話、燈臺、浮標及び船舶等に關する一切の事務を總轄す●鐵道局●東京郵便電信局●電話交換局等皆な此省の附屬なり

●警視廳 八重洲町にあり行政、司法、の二權を以て庶民の安寧を保護する役所なり

●警察本署●監獄本署等皆な此廳の附屬なり

●東京府廳 有樂町一丁目にあり府下一般の市民に關する事務を整理する役所にして頗る繁忙あり●十五、區役所●九郡役所公立小學校等はすべて此廳の附屬なり

●各國公使館案内

- 葡國公使館 赤坂榎町
- 和蘭公使館 芝榮町
- 布哇公使館 全
- 佛蘭西公使館 飯田町一丁目
- 英國公使館 半藏門外堀端
- 魯國公使館 裏霞ヶ關

- 露國公使館 裏霞ヶ關
- 伊太利公使館 霞ヶ關三年町
- 獨逸公使館 永田町一丁目
- 清國公使館 全 二丁目
- 澳利國公使館 上二番町
- 朝鮮公使館 中六番町
- 米國公使館 葵町一番地

右何れも各國公使の駐在する處にして頗る美觀なり此外我國に駐在する公使館のれども府外あれば之を畧す

●注意

地方の人出京して府下觀物及び神社佛閣へ詣んと欲するに、十五區九郡を記憶すべし、然らざれば案内に就きて大に錯雜することあればなり、十五區とは、

日本橋、京橋、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、神田、下谷、淺草、本所、深川、十五區と云ふ、九郡とは葛飾、足立、南豊島、北豊島、東多摩、南多摩、北多摩、西多摩、荏原の九郡を云ふ、よりて予は最も案内の成易きを量りて一區一郡つゝ深切に案内す亦十五區中最第一と爲すは糺町區あり而れども總て全國への行程を定むる標準とするは日本橋より始む故に予は日本橋をして元標と爲し而して府下諸方への行程を定むるなり乍併茲に一煩らばしきことあり仮令ば日本橋より蠣壳町の水天宮へ詣るに四日市より兜橋を渡り鐘橋へ出て行けば七丁にして水天宮へ達す、江戸橋を渡りて人形町通りへ出て往くときは十一丁あり之即ち道路の曲直によりてなり、茲に於て予は尤も注意して其直路と爲す處を取りて丁數里程を掲ぐ、蓋し掲ぐる處の丁數里程は日本橋より直ちに其處を指して往くの標準あり、亦た觀物案内の如きに至つては一區一郡順序を逐て往くものあれば其里程を示すに甚だ難し是を如何にと云へば府下の案内は道中記と異り廻燈籠の如くぐるぐると廻るを以て往く先々

注意 東京名所案内表目

として之に里程を附するときは四日市の東京郵便電信局へ二丁電信局より江戸橋へ一丁とし江戸橋より魚川岸へ二丁と記すときは以上五丁あり日本橋より直接に附せば橋際が即ち魚川岸にして一丁までもあし或は東へ少し入り、又西へ出て往くかとするに、案内順序の里程を示せば不知案内者をして強て煩悶を取するに至る、此れ予が嗟嘆する處あり、よりて人々に最も分り易き様、左に表を作りて案内の順序と里程を附す里程は日本橋より達すと知るべし亦た案内順序の表目の順を逐て順次に観物すれば知らずく自由に観物することを得、此れ予が注意あり、故に左の表目を熟覽し、以て自由に見物すべし

●東京名所案内表目 ●里程丁數は凡べて日本橋よりと知るべし

●日本橋區	江戸橋	二丁	第一國立銀行	二丁半
東京郵便電信局	兜橋	二丁	東京株式取引所	三丁

茅場町藥師堂	四丁	杉の森稻荷	七丁	銀座煉瓦通	八丁
鐘橋	四丁	安宅大觀音	九丁	⊕勸工場	全
日本郵船會社	六丁	水天宮	七丁	華族銀行	十七丁
日本銀行	七丁	明治座舊千歲座	十丁	歌舞伎座	十四丁
永代橋	全丁	人形町通	七丁	農商務省	十五丁
春風館	十丁	魚川岸	一丁	商法會議所	十五丁
中洲	全丁	本町通	三丁余	深野座舊新富座	十五丁
新大橋	十二丁	十軒店	全	西本願寺	十六丁半
兩國橋	十五丁	三井銀行	二丁	俳人嵐雪の墓	全所
柳橋	十六丁	日本橋通	一丁	外國人居留地	二十丁
淺草橋	十四丁	●京橋區		佃島住吉神社	廿二丁
馬喰町	十三丁			石川島監獄署	全所隣

東京名所案内表目

東京名所案内表目

石川島造船所	全	烏森神社	十八丁余	黒木尊	全
鏡炮洲溲稻荷	十七丁	虎の門琴平神社	廿二丁	花屋敷	全
新川太神宮	十丁	西久保天徳寺	廿四丁	紅葉館	全
越前堀田宮神社	十二丁	城山	廿八丁	圓山	全
伊雜太神宮	八丁	西ノ久保八幡	廿八丁	芙蓉洲辨財天	全
●芝區		愛宕山	廿五丁	三田春日神社	一里余
新橋鐵道局	十七丁	愛宕館	全所	祖來先生之墓	一里余
濱離宮	十九丁	青松寺	廿六丁	聖坂功運寺	一里八丁
延邊館	全	金地院	廿七丁余	三田齋海寺	全
芝日影町通	十七丁	芝公園	全	魚籃觀世音	全
日比谷神社	十八丁	東京府勸工場	全所	高輪泉岳寺	一里半
		増上寺	全	赤穂四十七士之墓	全所

如來寺	全	尼格來教會堂	十七丁	柳原通	十三丁
岡部六彌太之墓	全	小川町通	十二丁	和泉橋	十六丁
東禪寺	全	神保町通	十七丁	美倉橋	十九丁
高輪廿六夜待	全	一ツ橋通	十八丁	衛生試驗所	二十丁
芝浦	廿八丁	三崎座	廿一丁	和泉助琴平神社	全
芝太神宮	廿三丁	錦町法學院	十四丁	●下谷區	
瓦斯會社	廿五丁	神田橋	十丁	市村座築造場	廿三丁
●神田區		鎌倉河岸	八丁	二長町柳盛座	廿三丁
萬世橋	十六丁	今川橋	七丁	佐竹の原	廿五丁
駿河臺	全	神田大通	八丁	三味線堀	全
神田神社	十九丁	於玉ヶ池	十丁	下谷廣徳寺	卅丁
御茶の水橋	十九丁	昌平橋	十三丁	下谷神社	全

東京名所案内表目

車坂町	十一丁	東照宮	全	不忍辨財天	三十丁
入谷朝顔	一里余	清水観音堂	全	不忍の蓮花	全所
小野照神社	一里余	秋色ざくら	全	不忍鏡馬會	全所
幡隨院	一里余	動物園	全	妻戀神社	廿六丁
根岸御行の松	一里十丁	博物館	全	●本郷區	
鷺谷温泉	一里余	圖書館	全	湯島切通坂町	廿八丁
谷中天王寺新葬地	一里十丁	勸業場	全	湯島神社	全
島田一郎之墓	全所	尚大師	全	根津神社	一里余
高橋阿傳の墓	全所	五條天神	三十丁	磯部の温泉	全所
幡隨長兵衛之墓	一里余	上野停車場	卅二丁	團子坂造菊	一里十丁
上野公園地	卅丁	池の端仲町	廿九丁	千駄木大觀音	一里七丁
東叡山寛永寺	全	上野廣小路	廿八丁	目赤不動	一里十三丁

駒込富士	一里十丁	白山神社	全	牛天神	三十四丁
駒込吉祥寺	一里十丁	八百屋於七之墓	一里余	初音の里	一里
草津の温泉	一里十丁	巢鴨癡狂院	一里十五丁	●牛込區	
帝國大學院	卅三丁	音羽護國寺	一里半余	神樂坂	一里余
本郷春木座	三十一丁	豊島ヶ岡	全	全所毘沙門	全
順天堂病院	廿五丁	關口八幡	一里十丁	若宮八幡宮	全
昌平坂	十八丁	目白不動	一里十丁	築土神社	一里五丁
●小石川區		目白停車場	一里半	全所八幡	全
水道橋	廿四丁	江戸川	一里余	赤城神社	一里八丁
砲兵本廠	廿五丁	同人社敷宇	全	輕子坂	一里
富坂	廿七丁	傳通院	一里	江戸川製紙場	三十丁余
小石川植物園	一里十丁	全所大黒天	全	牛込勤工場	一里四丁

東京名所案内表目

市谷龜岡神社	全	海軍省	二十三日	弁橋	一里半余
陸軍士官學校	一里五丁	溜池	三十丁	廣尾笑花園	全
全 戸山學校	全	一ツ木通	三十丁	麻布富士見町	一里半
●四ツ谷區		辨慶橋	廿八丁	七佛藥師堂	一里十三丁
四谷通	一里十丁	大久保利通公之碑	卅丁	仙台坂	一里十丁
牛頭天王	一里半	赤坂離宮	一里	鎌作觀世音	一里余
鬼子母神	全	豊川稻荷	三十三丁	善福寺	一里十丁
汐子觀音	全	青山御所	一里余	英一螺の墓	一里余
●赤坂區		青山新葬地	一里余	寶井其角の墓	一里余
葵坂	廿五丁	青山練兵場	一里半	光孝天皇陵之塔	卅四丁
靈南坂	廿六丁	百人町	一里半	唯狸穴	卅四丁
葡國公使館	二十三丁	●麻布區		四ツ辻	卅丁余

●麴町區		九段坂	二十三日	魯國公使館	全
常盤橋	四丁	招魂社	二十六丁	外務省	廿丁
印刷局	六丁	漢國公使館	二十六丁	學習院	廿二丁
會計檢査院	全	朝鮮公使館	全	國會議事堂	全
内務省	全	糞町大通	廿一丁	鹿鳴館	十八丁
大藏省	全	平河天神	廿三丁	東京府廳	十三丁
官報局	全	參謀本部	廿丁	帝國ホテル	十七丁
一ツ橋	十二丁	獨逸公使館	全	日比谷太神宮	十六丁
文部省	十二丁	陸軍省	全	日比谷ホテル	全
近衛營所	十四丁	星ヶ岡公園	廿六丁	憲兵司令部	十五丁
吹上御苑	二十丁	日枝神社	全	地方裁判所	十丁
半藏御門	全	清國公使館	廿四丁	警視廳	全

東京名所案内表目

監獄署	九丁	第六天	十七丁	浅州神社	全
東京控訴院	十丁	須賀神社	十九丁	浅州公園	全
大審院	全	國遊館	全	凌雲閣	全
司法省	全	大藏省倉庫	廿丁	常盤座	全
電話交換局	十五丁	西福寺	廿二丁	吾妻座	一丁
二重橋	全	厩橋	廿四丁	浅州田甫	一里余
内閣	全	石清水八幡	廿四丁	鷺の神社	一里十丁
樞密院	全	諏訪神社	廿六丁	太郎稻荷	一里余
宮内省	全	駒形堂	廿七丁	見返り柳	一里半
櫻田門	十六丁	吾妻橋	廿九丁	衣紋坂	全
●浅草區		浅州傳法院	三十丁	新吉原	全
浅草橋通	十六丁	浅州觀世音	三十三丁	袖摺稻荷	一里八丁

山谷堀	一里十三丁	誓願寺	全	洲崎神社	一里
三浦屋高尾の墓	一里余	土薄店の祖師	廿五丁余	洲崎遊廓	一里余
今戸八幡	一里半	瓦器薬師	廿七丁	深川木場	一里
千葉之介守胤之墓	一里半	三島神社	全	深川倉庫	十三丁
齋藤實盛の墓	一里十丁	宗吾靈神	全	靈巖寺	二十二丁
鎌倉景道の墓	全	浅草座	全	淨心寺	二十二丁
眞先稻荷	一里廿三丁	鳥越神社	廿六丁	海福寺	二十一丁
待乳山聖天	一里十三丁	中村座	廿五丁	越中島	二十三丁
パノラマ	三十三丁	●深川區		一蝶寺	廿四丁
東本願寺	三十二丁	深川公園	二十八丁	●本所區	
佐野善左衛門之墓	全	成田不動尊	全	兩國回向院	十七丁
法恩寺	全	富岡八幡神社	全	鼠小僧の墓	全

彌勒寺	十八丁	三園社	一里十三丁	木母寺	一里卅丁
五百羅漢	一里十三丁	其角雨乞の碑	全	梅若塚	全
龜戸天満宮	一里七丁	秋色の額	全	南葛飾郡	
臥龍梅	全	其角堂	全	綾瀬川	二里
小村井梅屋敷	一里十丁	牛島神社	一里半	堀切の里	二里半
柳島妙見	一里七丁	長命寺	一里廿四丁	柴又帝釋天	二里廿丁余
最教寺	一里三丁	芭蕉雪見堂	全	南足立郡	
業平天神	一里余	白髭神社	一里廿六丁	關屋の里	二里余
小梅	一里八丁	秋葉神社	一里廿四丁	飛鳥社	一里卅丁
嬉の森	一里余	百花園	一里廿五丁	千住驛	二里
隅田川	全	小松島	一里廿七丁	千住川	全
向島	一里十丁	水神の森	一里廿八丁	梅田天神	二里半

梅田神明宮	全	名主の滝	二里八丁	金王丸産湯の水	二里
西新井大師	三里	滝の川楓	全	金王丸守佛	全
北豊島郡		板橋驛	二里余	道立坂	全
日暮里	一里十丁	穴八幡	一里半	内藤新宿	全
飛鳥山	二里	落合の笠	全	深大寺の蕎麥	二里余
道灌山	一里半	誓願寺	一里十四丁	新宿停車場	二里八丁
王子停車場	二里	高田七面堂	一里廿二丁	角筈梅園	二里十二丁
王子製紙場	二里三丁	南豊島郡		東多摩郡	
王子神社	二里四丁	大久保躰躰花	一里卅丁	十二所神社	二里十三丁
王子稻荷	二里六丁	富士見坂	二里	全滝	全
音無川	全	落合一枚岩	一里半余	堀の内妙法寺	二里半余
瀧不動	二里八丁	新日暮里	二里	井の頭辨天	三里半余

東京名所案内表目

中野法泉寺 二里余	●北多摩郡	府中驛 七里余	六所神社 全	田無町 八里余	●南多摩郡	多摩川 五里余	百草松蓮寺 十里余	御嶽山 十二里余	八王子 十二里	日野渡 十里	●西多摩郡	小金井 八里余	青梅 十二里	五日市 十二里余	●荏原郡	五百羅漢石像 二里	目黒不動 二里半	獨鈷の瀧 全	目黒太鼓橋 二里余	目黒行人坂 全	比翼塚 全	祐天寺 二里半	渡釋迦堂 二里五丁	白金清正公 二里余	新田神社 三里半	貴船神社 全	品川驛 二里	東海寺 二里	海晏寺 全	岩倉具視公墓 全	二階堂出羽守墓 全	最明寺時頼墓 全	蒲田の梅園 三里五丁
--------------	-------	------------	-----------	------------	-------	------------	--------------	-------------	------------	-----------	-------	------------	-----------	-------------	------	--------------	-------------	-----------	--------------	------------	----------	------------	--------------	--------------	-------------	-----------	-----------	-----------	----------	-------------	--------------	-------------	---------------

池上本門寺 三里半	●六阿彌陀詣	一足立郡本木村長福寺	二全 沼田村延命寺	三 西ヶ原村無量寺	四 田畑村與樂寺	五 下谷五條町常樂院	六 龜戸村常光寺	●府下六公園	●四季遊覽場	●六大橋	●以上を六公園と云	村の東海道路程ヶ谷の北にあり	櫻花	隅田堤、上野公園、飛鳥山、日暮里、九段坂	招魂社、日比谷太神宮、星ヶ岡公園、小金井、小金井は櫻花に名高し	品川沖、洲崎	藤花	龜戸天満宮境内、目黒、中延、上野、廣尾、笑花園		
淺草公園	上野公園	深川公園	芝公園	星ヶ岡公園	飛鳥山公園	觀梅	龜戸臥龍梅、小村井、木根川梅莊、蒲田村梅莊、向島百花園、淺草公園、深川公園、芝園山、杉田村、杉田	永代橋	新大橋	兩國橋	厩橋	吾妻橋	千住大橋	以上を六大橋と云	櫻花	隅田堤、上野公園、飛鳥山、日暮里、九段坂	招魂社、日比谷太神宮、星ヶ岡公園、小金井、小金井は櫻花に名高し	品川沖、洲崎	藤花	龜戸天満宮境内、目黒、中延、上野、廣尾、笑花園

東京名所案内表目

牡丹 團子坂、本所植文、芝 圓山、廣尾笑花園、目 黒内田園中、 大久保、音羽、護國寺 根津、日暮里、 堀切、新梅屋敷、木下 川、本所四ツ目植文、 廣尾笑花園、向島隅 田園、 納涼 王子、目黒、芝濱、十 二所、上野鶯谷、神田 神社、四谷津の守郎、	朝顔 入谷、染井、 蓮花 不忍池、芙蓉の辨天、 市ヶ谷堀端、 秋草 入谷、押上秋寺、向島 新梅屋敷、廣尾笑花 園、上野公園、其外 觀月 高輪、芝愛宕山、星ヶ 岡、芝濱、九段招魂社 造菊 谷中團子坂、染井、淺 草公園花屋敷、目黒、 王子灘の川、真間山、 紅葉	品川海晏寺、根津神 社、芝紅葉館 隅田堤、今戸、待乳山 愛宕山、御茶の水橋、 忍ヶ岡、上野東照宮 の處を忍ヶ岡と云ふ ●府下の名産 淺草海苔、江戸紫、 東錦繪、團扇 蒔繪細工、佃煮 木履下駄、江戸川製紙、 足袋、袋物類
---	--	--

江戸前の鰻、利根川鯉こく、 今戸焼物の類、其他畧す ●毎日朝市 古着市場 神田元柳原 魚市場 日本橋魚河岸、新 場、芝大門前、淺草花	川戸、千住川魚、 青物市場 神田多町、日本 橋、兩國廣小路、柳原 川岸、本所一ツ目、京 橋大根川岸、本所中 の郷、駒込淺香町、千	住大橋、本所四ツ目、 下谷金杉、音羽、小日 向水道町、濱町川岸、 白金猿町、其他畧す
---	---	---

●東京名所案内 附神社佛閣參詣

●日本橋區案内

●日本橋 府下第一の繁華にして長サ廿八間、南は通一丁目より京橋、新橋を経て品川驛に達す、北は室町登丁目より万世橋に到るの中央にして貴賤男女の混雜、馬車人力車の駱駝たる寸地を余さず、亦た京上にイ立して遠く西を望めば、富岳現然として天に聳へて高く、近く西河岸橋、一石橋、錢龜橋を見るの佳景、亦た

首を東に願らせば、左岸に魚市場の倉庫、右岸に三菱の倉庫ありて、魚船の往復荷物の運搬を便せしむ、古人此地を稱して土一升、金一升に仮言せし實に偶然ならざるを知るべし

●東京郵便電信局、元四日市にあり三層樓にして入口の上に大時計を据へ晝夜通行人の便利と爲す、家屋の構造總て立派ならざるのなし、本局にて扱ふ處の事務の郵便電信及び、爲替貯金等に關する一切あり

●第一國立銀行、兜町にあり、同行は銀行中の嚆矢として人の宜く知る處なり、構内に稻荷の祠あり、往昔源義家奥州征伐の時、此處へ兜を埋めて塚を立つ、後ち數世を経て稻荷を勧請す、よりにて兜稻荷と云ふ、兜町も即ち、此縁によりて斯く號けしものなり

●東京株式取引所、第一銀行の裏、兜町の通りにあり、株券及び諸公債證書の賣買を取扱ふ處あり

●茅場町樂師堂、鑼橋の通り第一銀行の少先にあり本尊樂師の像は惠心僧都の作り、毎月八日、十二日、を以て縁日と爲す

●鑼橋 茅場町と小網町の間に架す鉄の釣橋を云ふ維新前まで舟渡しなりしが今は美麗な橋梁と爲れり

●日本郵船會社 南茅場町にあり全國諸港は勿論海外各國への乗客并に荷物運送の事務を取扱ふ會社あり

●日本銀行 新永代町にあり全國の銀行中最屈指の勢力あるもの獨此銀行有るのみ當時本行建築の場所、同區本町一丁目川岸常盤橋外へ宏大なる所有地を設けて目下工事中なり成工の後ち一層の美觀を呈すること判然たるべし

●永代橋 日本銀行の前より深川へ架する、長サ百十間余、都下六大橋の一なり此橋上に立つて東南を臨めを渺茫たる蒼海、碇泊の漁船、帆船、遠近に散じ、亦た遠く房總の翠巒富士の白峯を遠望するが如き、眞に佳絶にして歸念を忘却するに

至る處なり

●春風館 蝸壳町三丁目にあり同館は演藝矯風會と號けて遊藝を矯生するにあり講談、落語、歌舞音曲等總て遊藝に關するもの或ひは演說會等と時々催す處にして高堂美麗なり、亦た何人に限らず切符を購て來館するを得○入場券上等金二十錢下等金十錢にして終日の愉快亦た多し

●中洲 新大橋の際にあり明治廿年官、理地として新に住居を許す割烹店、貸席、其他飲食、揚弓場等あり、四方皆岸にして夏夜納涼には最も適當なる處あり

●新大橋 日本橋區濱町と深川御舟藏前町へ架す、長サ百二間にして都下六大橋の一なり

●兩國橋 全吉川町と本所區元町回向院前へ架す長サ九十六間にして新大橋と相對す往昔下總葛飾、武藏豐島の境たる緣故によりて兩國の名を附すこと古書に見ゆ亦た此の名所たる毎歲五六月の候に至れば川開と稱して烟火數百本を打揚ぐ都下

の雅俗群集する者眞に立錐の余地なきに至る

●柳橋 兩國の左一町斗り入たる處を柳橋と云ふ此邊府下有名の藝妓多し

●淺草橋 馬喰町通りと淺草大通茅町の入口に架せる礮鐵の釣橋を云ふ道路の混雜亦た繁華の處あり

●馬喰町 淺草橋際にして本石町へ出るの通りなり、此邊旅人宿多し宿名は旅亭の部を見て知るべし

●杉の森稻荷 人形町通新材木町の新道にあり往昔田原秀郷將門追討の時此稻荷へ誓願を込めしと云ふ

●安宅大觀音 蝸壳町一丁目にあり舊鎌倉鶴ヶ岡八幡に安置せしを維新の後ち府下へ運搬し安宅川岸へ置きしを後ち深川高橋へうつし、亦た堂閣を立て今の地へ安置せしと云ふ

●水天宮 蝸壳町有馬邸にあり、安徳天皇及び建禮門院の神靈を祭りし宮社にして

利益特に著し、毎月二日、五日、十五日、を祭日とす、此日参詣に群集する者幾万人なるを知らず、亦た諸商人は前夜をかけて四方に充満たり、都下神社にして普通斯く参詣に群を爲すもの水天宮の他虎の門の琴平あるのみ

●人形町通 水天宮の通りよりして大傳馬町二丁目三丁目へ出るまでを云ふ商家擔を運ねて繁昌し、買物の便を爲には亦た屈指の處と云ふべし

●本町通 室町三丁目と本石町一丁目間の大通りを云ふ此地藥品問屋多く亦た銀行會社等ありて豪家の多し

●十軒店雜市 本町石町の間の地を云ふ、彌生の頃に至れば店頭へ大裡雜亦たは手道具を陳列し、五月には甲人形幟鯉などを商ふ、此を十軒店雜市と云ふ

●三井銀行 室町二丁目三丁目との間の西横町駿河町にあり府下私立銀行中屈指の名あり宏造最も美觀にして殊に屋上に鯉を上げたり

●魚川岸 日本橋の際東通の川岸續きを云ふ安針町、小田原町本船町等皆魚問屋に

して府下鮮魚を鬻の第一等とす是れを日本橋の魚市と稱す

●日本橋通町 日本橋より南へ四丁の間を唱ふ、商家の繁盛最屈指の處と爲す

●京橋區案内

●銀座、煉瓦通 京橋より新橋に到る八丁の間を里俗煉瓦通りと云ふ築造の家屋悉く煉瓦にあらざるは奇し或人曰く此地歐米諸國の風を習ふと宜哉、殊に道路を分ちて三道となし、中央を車道、左右を人道と爲す、亦た左右の間に種々の樹木を植るあり、春時櫻柳相混じて笑ひ、或ひは瓦斯電氣の光映赫々として市街を照せる、恰も白晝に異なることなし、櫓並ぶ商店戸毎に物品を陳列する多くは海外諸國の商品たり、人種の通行敢て絶へず、此れ一見して正に東京の繁盛を知るは銀座通りあるのみ

●歌舞伎座 銀座四丁目と尾張町一丁目との境、毎日新聞社と、中央新聞社との間東へ入り、木挽町四丁目にあり櫻痴居士の建設にかゝれり、東京五大劇場の一に

して宏麗極めて美觀を呈す、場中の左右に運道場あり、空氣の流通を良せり、日本俳優の首長市川團十郎は即ち當座の座頭たり、一見して帝都の劇場たるを知るもの獨當座あるのみ

●第十五國立銀行 俗に華族銀行と稱す新橋鐵道局の前蓬萊橋際木挽町七丁目にあり、宏造の美觀亦た敢て云ふ可からず、當行は日本銀行に亞くの勢力あり、其資本金一千七百八十二万六千圓あり

●商法會議所 木挽町五丁目にあり築造宏大にして商事に關する萬般の理由を商議する處あり

●西本願寺 商法會議所より少先築地にあり一向宗にして西京六條の輪番所なり、俚俗築地門跡と云ふ明治廿六年九月上旬火災に罹り本堂及庫裡數棟を燒失す

●外國人居留地 小田原町の向入舟町、新築町、南小田原町、の三ヶ所にあり構造大概煉瓦を以てす、其狀恰も外國に遊べるの風あり、春時梅柳櫻花の咲乱るゝあ

り、余屢々此處へ往來す、殊に海岸に添ふを以て夏日は亦た別して佳と爲すあり
●佃島住吉神社 本港町より小舟に乗りて渡る住吉神社、此島の鎮守にして攝州住吉の神を祭る例祭は毎年六月三十日、此日、氏子中々ぞりて神輿を昇、神輿洗ひと號けて海中へ入を例とす、亦た此地の産とするは白魚にして特に善良なるものあり

●石川島 佃島の隣島にして、往昔舊幕の旗下石川八左衛門の領地あり、維新の後ち官此所を造船所及び監獄署となす

●湊稻荷 鐵砲洲本湊町にあり、里俗鐵砲洲の稻荷と稱して八丁堀邊の産神なりと云ふ

●新川太神宮 靈岸嶋銀町にあり、伊勢の内宮、外宮、を遷し祭る宮社あり

●田宮神社 越前堀にあり舊四谷左門町にありて於岩稻荷と稱せしが後ち改稱して

田宮神社と爲す

●伊雜太神宮 八丁堀にあり天照太神宮の別宮あり

●芝區案内

●新橋鐵道局 新橋の南汐留町にあり日本全國鐵道の基礎にして構造亦た宏麗なり

●注意

鐵道に乗車おさんと欲する者は發車十分前に其往先の切符を買べし、亦た鐵道館は混雜なせを別して旅客の注意すべし

●濱離宮 蓬萊橋を渡り華族銀行の前を通り川岸に添ふて往く處なり、舊幕府の頃は、御濱御殿と稱す、山水の風致、明媚にして遠く房總の諸山を望む、天皇陛下臨幸おらせらるゝ處なり

●延邊館 皇族諸大臣を始め内外貴賓の饗應席なり

●日影町通 芝口の西裏通りを里俗日影町と云ふ、往昔此通へ刀劍武器又の古着蒲團など賣買する店多くありて殊に片側町ありしが現今煉瓦を以て築造し雜貨或ひ

の新古の洋服を賣買する商店多し

●日比谷神社 芝口三丁目里俗日影町通りにあり鯖稻荷と稱へて參詣多し

●鳥森神社 鳥森町にあり例祭は毎年五月五日

●琴平神社 虎の門外琴平町にあり、大物主命及び崇徳天皇の神靈を祭りしと、毎月十日祭日、此日都下、參詣の老若男女夥多く群集せるは蜘蛛殿町の水天宮に劣らず

實に府下神社の祭日たる琴平、水天宮の兩社の外斯く賑しきなし

●天徳寺 西久保神谷町にあり天文二年親譽上人草創の寺にして西京知恩院に屬す淨土宗にて東京四ヶ寺の一なり

●愛宕山 西久保に連なる岡陵にして石段二道あり正面峻急あるハ男坂、遠近あるを女坂となす、近時女坂を改造して登山者の便を爲す、山上に愛宕神社あり、慶長五年の創立たり、此地に登りて四方を望めば、東京府下幾億方の戸數葉を連ねて、立錐の地なし、東北ハ利根隅田の二流を睇み、東南ハ芝浦品川灣、等の船舶

水面に往復する有様宛然として千鳥の飛に似たり、亦た鐵道汽車の進行、笛聲黒烟を吹散すの佳景、殆んを言に俾あらず春夏秋冬府下の衆多く此處に觀遊す

●愛宕館 同處にあり、五層造の煉化にして雲表に聳ゆ、常に席貸、宴會、あどする處亦た廿六夜などには人多く群集せり

●青松寺 愛宕山より少し先四ツ辻の手前なり南隣曹洞派の禪刹にして東京三ヶ寺の一たり

●金地院 増上寺の西、切通の上にして京師南禪寺の宿寺たり

●芝公園 舊増上寺の境内たり、當時六公園の一にして四民の借樂園あり、園中に神社佛閣多し、亦た働工場あり此れ東都第一とする所なり

●増上寺 三縁山と號く淨土宗の總本寺にして十八檀林の冠首たり建築の莊嚴ある府下諸寺に勝る、此寺、往昔徳川氏の靈屋たるを以て、秀忠公以下の墓廟あり諸人に縦覽を許す、當時本堂を大教院と稱す閑暇幽靜にして獨り之と相並ぶもの

東叡山寛永寺にあるのみ

●黒本尊 増上寺々中にあり徳川家康公尤も信仰の佛像なり

●東照宮 徳川氏の開祖家康公の神靈を祭る宮社あり

●水交社 海軍省の附屬にして武官等宴會談話等を催す處あり

●彌生館 九段坂靖國神社と全く西南の役に戦死したる人靈を祭處にして、時々宴會相撲など催す處あり

●花屋敷 公園中にして植木屋の庭園あり、四季の草花を植へて遊觀する人を待つ處あり

●圓山 閑暇幽靜の地にして山上より遙に、品海を臨み亦た總房の諸山を遠望す、風光佳絶たり、特に四季の草花あり雅俗此處に杖を曳く者多し

●紅葉館 楓山の中にあり、閑暇幽靜の風致たる處にして貴顯紳士の歡宴及び集會する好館なり、時々能樂ありて 天皇及び皇后陛下の行幸あらせらるることあり

- 芙蓉洲辨財天 赤羽根橋へ出口、圓山の裏にあり、池塘に蓮花を生ず、亦た茶見世を設く夏日納涼に尤も適當の處あり、予は此處へ屢々杖を曳く
- 春日神社 三田四國町にあり春日の三笠山神社を勧請せしと聞き傳ふ
- 功運寺 三田聖坂上にあり、三州龍門寺に屬せる寺あり
- 齋海寺 京師地恩院派の寺なり
- 魚籃觀世音 淨閑寺にあり縁起あれども略す
- 瑞聖寺 白金町にあり黃蘗派の禪林にして寛文年間木庵和尚の開基なり
- 高輪泉岳寺 牛町にあり万松山と號す、曹洞宗にして東都三ツ寺の一あり境内に淺野内匠頭長矩以下、義士四十七士の石塔あり義士の名を追慕して常に參詣絶す亦た吉良吉英の首級を洗ひしと云傳ふる井あり、本堂に淺野浪士の木像及び遺物あり、諸人に縱覽せしむ
- 如來寺 泉岳寺の南隣にあり、本尊五智如來佛身一丈余にして木食祖唱師の作あり、俗に高輪の大佛と云ふ

- 東禪寺 同所北町にあり東都四ヶ寺の一にして禪派なり
- 高輪廿六夜待 古昔高繩と稱す芝田町の先にして品川驛の手前あり秋夜看月の一勝地なり
- 芝浦 本芝の海岸東の方を云ふ、漁業場なり、里俗此所を芝濱と唱ふ、海水浴、割烹店等ありて鮮魚を調理す、夏日納涼に最も適當の地にして亦た見晴しよし
- 芝太神宮 増上寺の表通りにして俗に神明町と稱ふ天照太神の御影を遷せし宮殿にして寛弘二年九月十六日太神の詫宣により此所に祭る、例年九月十六日大祭、全月十一日より廿一日までちぎ箱、生姜などを贈りて商業とする者多し、是れを神明祭りと云ふ參詣の群集亦た夥多し
- 瓦斯燈會社 新網町にあり東京市街へ瓦斯を点火するの總て此會社なり

●神田區案内

●万世橋 日本橋の北の方にあり、往昔舊幕の頃此橋を昌平橋と稱ふ聖堂に昌平殿ありしを以て然稱ふ、維新の始め改造して美麗なる石橋と爲す橋下眼鏡に似たるを以て、俗之れを眼鏡橋と云ふ、今の昌平橋ハ万世橋と相並びて柳原の入口に架す亦た橋上に立て神田川の水面を望めば兩岸の樹木水面に寫りて青々とし、小舟を浮べる景況、恰も之れ描ける山水の如し、其風光佳絶、敢て云べからず、近時上流へ新に橋を架せり名けてお茶の水橋と云ふ

●駿河台尼格來教會堂 駿河台ハ万世橋の側高臺の所を云ふ、台上より神田川を臨み湯島舊聖堂或ハ御茶の水橋の風景を見渡し、亦た西に富岳を望むの佳絶あり故に駿河台の稱あり、東西紅梅町、南北甲賀町、袋町、鈴木町あり、既往徳川氏の世、旗本多く、此所に住せしが、維新以後貴顯紳士、勅奏官の住邸する者多し殊に新道を開きしを以て、其便あること亦た論ずし、西は小川町に接し、東は本郷に界す、前三菱社長岩崎彌之助君の住邸あり、就中突出せる高堂ハ、是れ露

國の牧師、尼格來氏の教會堂なり、構造の宏麗一見して亦た驚くに堪たり

●小川町通 神田大通より万世橋に對ひて右の方を柳原通り、左の方を小川町通りと云ふ、小川町通りは總名にして、淡路町、雉子町、美土代町、小川町、錦町、神保町、猿樂町等なり既往徳川氏の世は諸藩の住邸ありしが、維新以後、追々開けて今ハ神田區中、第一等たる繁華の地たり官私の學校多くは此所の四邊にあり商店樓を連ねて、競賣すれハ買物には甚だ廉あり、都下の人、物品によりて其勞を厭す態々此所へ買物に出る者多し

●神田神社 万世橋の西北宮本町にあり、祭神は大己貴命、少彥名命の二神にして、人皇四十五代聖武天皇の鎮座なり、里俗將門の靈を祀しと云ふは誤りあり、延文年間將門を以て相殿とせしが、維新後將門は別に靈神として其側にあり、祭禮は麴町日枝神社と隔年に執行す、府下神社中尤も有名の大社たり

●御茶の水橋 駿河台鈴木町より本郷高等師範學校前に新架せしを御茶の水橋と云

ふ、万世橋、水道橋との中間にして神田川の流れ清く景色絶佳なり

●聖堂 御茶の水橋より万世橋の方へ下る所、高等師範学校の隣りなり、舊幕府の頃諸藩の士、多くは此處に入りて文章經學を修め、而して名を後世に揚たる者夥多し、維新の後、我國に於て博覽會を開きしは此處を以て始めと爲す、當中に孔子、曾子、孟子、顔子の像を安置す今猶現然たりと雖も拜顔することを得ず

●下谷區案内

●御成道 萬世橋と並びし昌平橋の通り、即ち上野廣小路へ出るの大通りを御成道と云ふ、往昔徳川將軍代々東叡山へ通行せしとき庶民をして往來を止めしを將軍上野へ御成と云ふ、因て御成道と通稱す明治廿四年市區改正ありて今は十五軒の大路とされり商賈橋を連ね、馬車人力車の輻湊連接して走り、鎮道馬車の「ラツパ」雙の耳を貫く其雜沓計り知るべからず

●上野公園地 舊東叡山寛永寺と號し、徳川氏代々の靈廟たり、明治戊辰、脱兵寇

く當山に屯集し、以て朝敵たり、軍敗るゝに及びて火を放ちて走る、茲に至りて山内悉く灰燼となる、全六年官公園と爲して種々の樹木を植ゆ、就中櫻樹數百株あり、春時の候に至れば滿山悉く花ならざるはあし、此時を期して都下の雅俗櫻花の媚を求めんと、群集する者亦た夥多し

●東叡山寛永寺 慈眼大師開基の梵刹にして後水尾天皇寛永年中の創立にて、江城の鬼門を守る靈場ありしが、戊辰の兵火にかゝりてより以來、官當山を公園と爲すを以て寛永寺は今僅に山内の北隅深林の中に存するのみ

●東照宮 徳川家康公の神靈を祭りし宮社にして、寛永年中寛永寺と共に創立す宮殿壯嚴大樹森々として、最も閑地たり

●彰義隊の墓 同處山王台に建設す或人戦死の靈を慰めて
「朝敵の汚名は消てなき魂の標しを此所に殘し置くつゝ」
●秋色櫻 清水觀音堂の傍、井の端にあり花の名を虎の尾と號く、佳人秋色十二歳

の時上野の花を觀とて來り醉人の花に浮るゝを見て此櫻にあづらへて「井の端の櫻あふなし酒の酔」是れよりして此櫻を秋色櫻と異名せり

●博物館 同所山内にあり好事家の愛觀する所にして古今の珍器を陳列して縱覽を許す所なり切符代一人一枚金三錢あり

●教育博物館 同所にあり日曜日を除くの外、無代價にて縱覽せしむ

●圖書館 元聖堂にあり十八年此所に移す、何人に限らず圖書の借覽を許す、求覽券に尋常、特別の二種あり、特別券は一回金五錢、十回三十錢、尋常券一枚金二錢十回十二錢なり

●動物園 同所にあり諸禽獸魚のみを集めて飼養し、庶民をして縱覽せしむる所あり、一人に付縱覽券二錢

●不忍の池辨財天 東叡山の西下通を不忍と云ふ、池中に祭る社殿は江州竹生島の辨財天を遷す、七月の候に到れば池中の蓮花、紅白咲乱れて清香を徐に送る、又

山水の感あり風光佳絶にして府下蓮池の一勝地なり

●不忍競馬場 同所池塘の周圍三十丁余之を競馬場と爲す、春秋二期、競馬會の催しあり、天覽場とて天皇陛下の臨幸せらるゝ御席あり、當日馬術鍛練の士、競争して乗馬を馳す、都下庶人群集する者實に立錫の地なり

●鶯谷 上野公園の北にして金杉へ下る新道を云ふ閑靜の地にて伊香保鹽原等の温泉あり、夏日納涼として雅客此地に來りて浴する者多し

●小野照神社 坂本町にあり、小野葦の靈を祭る、坂本町の總鎮守として尊敬す祭日は毎歲八月十五日なり

●御行の松 金杉町にあり舊地を時雨の岡と稱す一株の古松蒼鬱として千歳の緑色を變せず依然として今猶存在す、府下名所の一にして殊に名高し亦た笹の雪の豆腐あり、名物にして客多し

●下谷神社 車坂町の先稻荷町にあり、俗に廣徳寺稻荷と稱す祭神は稻倉魂命にし

て下谷區の總鎮守なり祭典ハ隔年三月十一日あり

●廣徳寺 車坂町にあり、禪家にして其名府下に高し、下谷神社より山下へ出る所を里俗廣徳寺前通りと云ふ

●伴隨長兵衛之墓 谷中三崎町新伴隨院にあり、長兵衛、姓ハ塚本俠客を以て其名全國に高し

●谷中天王寺 戊辰の際兵火の爲めに焼失す後新葬地とありて神佛混交の埋葬場たり舊來の五重塔ハ今猶現在す

●上野停車場 明治十七年開業す上野より高崎を経て前橋大宮より阿久津を経て白川、仙臺、鹽竈、岩切、盛岡を経て青森へ往復す王子行き越後及び信州行きも亦此停車場より發す

●入谷の朝顔 坂本町より少し東へ入所を入谷と云ふ近年植木屋相會して朝顔を植付け種々の造り花を爲す、花時雅客陸續此所に杖を曳朝顔の開くを賞觀す

●五條天神 下谷山下、五條町にあり、神体は少彦名命にして本朝、醫の祖神なり毎年節分の夜おけらの神事を執行すると云ふ

●本郷區案内

●湯島切通し 下谷池の端仲町より本郷の大通りへ出るの所にして湯島神社の裏門の所を云ふ近年焼失後家屋大ひに改築して繁昌の地と爲れり

●湯島神社 北野天満宮を勧請す、高臺にして眺望佳なり、境内に揚弓店藝者屋等ありて尤も賑はへり

●妻戀神社 妻戀坂上にあり天神の表門より一丁斗先、川崎東作氏は此前なり、日本武尊橘姫の二神を祭る、一説に曰く命、東夷征伐の時、姫を戀ひて「吾婦者耶」と曰ふを以て妻戀と名くると云へり

●根津神社 素佐鳴命、大己貴命、蛭子命、の三神を祭る、境内に楓樹あり風光尤も佳あり

●團子坂造菊 谷中三崎町へ下るの坂を團子坂と云ふ、菊の候に植木屋相會して種々の造花を設く、亦た近時朝顔なども造りて稚客の觀覽に供す、此地の名物數種殊に名高し

●千駄木大觀音 團子坂より二丁斗先にあり、十一面觀音の像にして佛体一丈五尺余より當所有名の佛閣なり

●目赤不動 駒込淺香町にあり、豆州赤目山の住職万行和尚回國の時洪奉せし、不動の尊像を茲に安置し、一字を建立して赤目不動と云ひたりしが、後ち目黒不動、目白不動などに因て目赤不動と改稱せしと云ふ

●淺間神社 駒込富士前町にあり駿州富士淺間神社を遷す毎年六月一日大祭あり

●吉祥寺 全所片町にあり、曹洞の禪宗にして東都檀林の一なり、開山は周陽禪師あり

●草津温泉 全所蓬萊町にあり府下草津温泉の本家にして、庭園に築山あり四季の

卿花時知り顔に笑ひ、風色尤も佳なり、宿泊して入浴する者時に多し、亦た料理等もあり

●湯島坂 神田神社へ上る所の坂を云ふ此坂を登りて具すぐに往けば本郷通へ出る道なり

●小石川區案内

●水道橋 聖堂前より西へ具すぐに下る所にして神田川の上流あり往昔此所に清水湧出したるを以て幕府之を茶の湯にせられしと、故に指して御茶の水と云ふ享保年間洪水の後ち彼の名水其跡を絶ちたりと傳ふ

●東京砲兵工廠 小石川舊水戸邸にあり、陸軍省附屬にして兵器を鑄造する所あり

●植物園 全所戸崎町にあり、舊幕の藥園たりしが今の文部省に屬せり園中廣々として種々の植物あり、亦た池塘あり、山水を移せる様實に風光佳絶と云ふべし、諸人に縱覽を許す、切符一人に付き二錢

●白山神社 指ヶ谷町にあり、祭神は伊弉諾尊、菊理媛の二神を祭る元和年中の勸請にして舊は白山御殿にありしを、當所へ遷せしものと云ふ

●八百屋於七之墓 全所天臺宗圓乘寺にあり、法名、妙榮信女天和二年三月廿九日とあり、於七の話世上人口に噂炙すれども、皆區々にして其實を得ず、於七の事は天和笑和集と云ふ書に悉く掲たり、亦た石塔は岩井半四郎代々之を建立せしものなりと云ふ

●音羽護國寺 音羽町にあり、神齡山と號す、開山は亮賢僧正にして奥旨宗あり本尊は馬頭馬腦石、如意林の觀世音菩薩の靈像を安置す境内に櫻花躑躅などあり花時庶人夥多しく參詣すと云ふ

●豊島ヶ岡 音羽町にあり、楓樹多く閑靜の地にして風雅云ふ斗りなり近時此所として皇族の埋葬地に充つ

●關口八幡宮 目白坂の半腹にあり、神体は春日上の宮にて大祭は隔年八月五日

當社は關口水道町の鎮守として尊敬す

●目白不動 目白豊豊川町にあり、新長谷寺と云ふ、和州小池坊の宿寺にして本尊不動の尊像あり、弘法大師の作なり佛身八寸靈驗殊に著し、毎月廿八日を縁日とす境内關口の崖に添ふを以て眺望絶佳あり

●目白停車場 目黒を経て品川へ出るの流車あり

●江戸川 神田川の上流にして清水なり、近時兩岸に櫻樹數十株を植ゆ花時の候頗る美觀を呈せり

●小石川傳通院 安藤坂上にあり、淨土宗十八檀林の一にして、了譽上人の開創なり、境内に神社佛閣多し、殊に大黒天は有名なり

●牛天神 全所水道町にあり往昔北條氏康夢中菅公、牛に乗給ふの靈を見る、よりに天神を勸請す、舊水戸邸にありしを寛文年間此地へ移すと云傳ふ

●初音の里 小石川御殿坂の上なり、血吐鳥の多く群來りて、鳴つるを名けて、初

音の里と云ふ

●牛込區案内

●神樂坂 牛込御門より真直に登る坂を云ふ、急峻にして危嶮あり、傳聞く、津久土明神田安の地より遷座のとき、神樂を奏せしを以て、後ち此坂を號けて神樂坂と云ふ、商賈楯を運ねて繁昌す、山の手に斯く繁華なるもの四ッ谷傳馬町と此地なりと云

●毘沙門 全所にあり、毎月寅の日を縁日と爲す此日路傍左右露店を張、小兒の玩具及び、種々の品物を賣商人夥多あり、縁日で斯く賑はふ處、水天宮、翠平神社を除くの外此毘沙門の縁日を以て第一等と爲す

●輕子坂 神樂坂の北に並びし坂を云ふ、舊は逢坂と稱ふ、此地輕子多く住し所以によりて斯く稱へしと

●若宮八幡宮 若宮町にあり鎌倉鶴ヶ岡の遷しなり、文治五年右幕下頼朝奥州の泰

平を征伐の時、宿願ありて建立せしと云ひ傳ふ

●築土神社 神田神社と同社にして文明十年太田持助入道瀧江戸城に鎮守として勧請す、其頃の田安御門内にありしを元和の頃此地へ移せしと云ふ

●築土八幡宮 全所にあり縁起に曰く往昔一株の古松の許に一流れの白旗かゝれりよりにて神詔を下するに云々ありと故に一社を建立す此地の鎮守として崇まつれり

●赤城神社 全所赤城町にあり牛込忠左衛門（此人の姓を以て地名を冒す）祖先大胡常陸が信仰の神なるによりて此地に勧請す、當社の上州赤城山、三夜澤神を祭れり、牛込の惣鎮守にして大祭の九月十九日なり

●市ヶ谷八幡宮 牛込堀端の續き、市ヶ谷八幡町にあり、祭神は應仁天皇、神皇功后にして、鎌倉鶴ヶ岡八幡を勧請す、天正年間兵火に罹りしを文祿に至りて徳川家康公の母君桂昌院殿の義捐によりて、社殿を再建す、祭日は毎月十五日あり

●猿寺 神樂坂上にして蒼龍山、松源寺と云ふ、京都妙心寺派の禪林なり、東都四

ヶ寺の一員、本尊は釋迦如來、開山普照禪師あり

●四谷區案内

●四谷通 四谷門外より西の方内藤新宿までを俗に四谷通りと云ふ尾張町、糀町十一丁目より十三丁目傳馬町糀町何れも皆軒を連ねて繁昌す、山的手中、此所に亞ぐ場所は牛込神樂町あるのみ

●須賀神社 四谷須賀町にあり、里俗天王横町と云ふ神田神社の持あり、浴東祇園と同社にして祭神は素佐鳴命、毎年六月十八日より廿一日までを大祭とす

●并干觀世音 南寺町眞成院にあり

●赤坂區案内

●葵坂 虎の門琴平神社より赤坂溜池へ登る坂あり、近年新道を開きて通路の便を爲す右に山王臺より溜池の流れを臨み、佳景頗ぶる所あり、廿五年此側へ福祿座(當時日吉座)と稱する小劇場を建築せり

●靈南坂 榎町より麻布區へ登る坂を云ふ、登り口の所ハ紳士大倉喜八郎氏の邸宅あり、往昔高輪東禪寺此所にあり開山を靈南和尚と云ひたるより遂ひに其名を負せしどす

●一ツ木通 赤坂御門より眞直、傳馬町の通りより左りの横町を一ツ木通りと云ふ田町、丹後町、新町等への通り筋にして最も繁華あり

●辨慶橋 赤坂門に對ひて左の方紀尾井町へ到るの處にして新道なり、山水の風致備はり景色佳絶たり、此橋の通りに故、贈正一位右大臣大久保利通公遭難の石碑を建設せり

●赤坂離宮 舊、幕府、三家たる紀伊公の藩邸なりしが明治六年皇居火災に罹りて後ら假皇居と定められ亦た離宮と稱したりしが全廿一年大内裡の遺營全く壊工せしを以て遂ひに御城遷わらせらるゝ後ち皇太子東宮殿下の御殿とせられたり

●豊川社 青山の入口牛啼坂にあり、三州吉田の豊川神社を勧請す、靈驗特に著し

まを以て信仰者常に絶へず

●青山御所 離宮の西南にして皇太后后陛下の御在所なり

●青山練兵場 陸軍兵士の操練場にして曠原あり

●青山墓地 全所南町にあり神佛混交の埋葬地にして景色特に佳あり

●氷川神社 赤坂氷川町にあり、赤坂區の總鎮守にして武州足立郡大宮驛一の宮の

氷川神社を勧請す祭神は素佐鳴尊、大己貴命、櫛稻田姫の三神にて孝昭天皇三年に祭る處なり、大祭は隔年六月十五日あり

●麻布區案内

●弁橋 青山百人町の東にして北町の先なり、往古は龍川に架し橋にて經基橋と云ふ、六孫王經基、平親王將門を征追するの時龍川の關守に弁を與へて他日の証據とせし故に此名ありと云ふ

●廣尾 笑花園 弁橋の邊を廣尾と云ふ遊谷に隣り、笑花園の植木屋にして、種々

の樹木を造りて雅人の愛賞とす、亦た縦覽に備ふ、四季時々遊觀者多く此園中へ觀物に到れり

●麻布富士見町 廣尾に隣る處にして凹の地なり、此所より富士山を眺望するの美景あるを以て富士見町の名あり

●鷲の森神明宮 相模殿橋の南、田島町にあり、源頼義、東征凱陣の時、白旗を取めて祀りしと云ふ

●鎌作觀世音 麻布六軒茶屋町角光寺にあり、本山の阿彌陀如來は惠心僧都の作り、毎年七月十六日より廿五日まで千部修行あり

●善福寺 麻布雜色町にあり親鸞上人弘法の地にして關東八ヶ寺の一あり

●英一蝶の墓 二本榎一丁目宗敬寺にあり一蝶は書を以て東都に其名高し

●寶晉齋其角の墓 同所上行寺にあり

●光明天皇御陵の塔 麻布天現寺にあり、六尺斗の石燈籠あり

- 唯狸穴 長坂の東にして往昔此所に唯狸住ける穴ありし、故に名く
- 四ツ辻 西の久保より飯倉へ下る所の四通路なり、東は芝山内、西は青山、南は赤羽、北は西の久保へ通ずるの故を以て四ツ辻と號く
- 城山 麻布市兵衛町へ出る、路にして西の久保、八幡町の先より入る高臺にして閑静の地あり、古跡に曰ふ熊ヶ谷次郎直實の城跡ありと云へど其可否詳かあらず
- 西の久保八幡 全所八幡町にあり、一條天皇寛弘年中岩清水八幡を勧請し寛永年間の建立なり、毎年八月十五日放生會を執行す

● 麴町區案内

- 常盤橋 日本橋區本町一丁目川岸、日本銀行の向と麴町區大手町との間へ架する石橋にして其美觀たる府下の石橋中第一等の橋梁たり
- 九段坂 神田區今川小路より真直に登る坂なり、府下最高の地にして東は駿河臺と相對す、亦た遠く府下を眺望すれば市區の家屋滿々として芝浦、築地の濱、品

川沖と一目に遠望するの風景、眞に故人廣重が描たらんにはと漫に覺ゆ、亦た西を望めば、富岳高く雲表に突出す故に此西を號けて富士見町と云ふ牛ヶ淵は此前にあり、田安門あり亦た石階の常燈明あり之九段坂の常燈として殊に名高し

● 靖國神社 府下官社の一にして舊招魂社と云ふ此社たる戊辰の始めより臺灣、山口、佐賀等の役に、王事の爲めに憤死せし軍人及び其他警視廳の將校兵士に至るまでの靈を祭りし社にして、社前の兩側數十種の石燈籠あり、境内に入れば築山庭園の模様種々の意匠を凝し、或ひは四季の草花等交植せり、其幽美敢て言能はず、觀花の候に到れば百花の咲乱あり此期を約して參詣夥多群集す、亦た毎歲五、十一月の兩度大祭を執行す、競馬、相撲、能樂、烟火等の催しありて、都下遠近の老若男女參詣を兼、見物に出るもの亦立錫の地さきに到る

● 偕行社 海軍省の附屬にして宴會及び奏樂を催す處あり、近時煉瓦を以て新に建築す其宏造特に美麗あり

- 游就館 往古戦用の武器を陳列して諸人に縦覽せしむる處あり
- 糒町通 糒町は半藏門より直線の道路を指す十三丁目あり、四ツ谷門までを十町と爲す十一、二、三、は四ツ谷區に加す商店櫓を連ねて繁昌の處あり
- 平河天神 糒町二丁目と三丁目の間南へ入る平河町にあり、菅公を祀れる社にして毎月二十五日小祭あり、亦た此社内に於て相撲興行あり之を花相撲と云ふ
- 星ヶ岡公園 舊日枝神社の境内たり明治六年官之れを公園と爲す府下六公園の一にして種々の樹木あり、亦た山水の風光明媚ある山上より赤坂溜池を臨み、又花時櫻柳の觀あり、四季の快樂をなす處、星ヶ岡公園を除き他にあらざるべし
- 日枝神社 星ヶ岡公園中にあり、府下有名の大社にして、神田明神に亞ぐ、祭神は江州日吉山王と同神たり、幕政の頃山王の祭典と云へば府下比類あらざれども維新後、絶て之れを見ることなし
- 星ヶ岡茶寮 全所にあり、點茶及び圍碁集會等々に貴顯紳士多く此所へ來ると云ふ

- 亦た會席料理等もあり
- 内閣總理大臣官邸 永田町二丁目にあり洋風を以てす、頗る美觀たり
- 有栖川邸 永田町二丁目外務省の隣り上の方にあり宏造尤も美觀たり
- 舊學習院 虎の門内にあり、俗に華族學校と云新舊華族に限りて入學を許す所に於て、高樓極めて美あり、此校は舊工部大學校ありしが工部省廢しの後ち、此所に移したり
- 國會議事堂 内幸町にして、堂内に貴族、衆議、の兩院を設く、明治廿四年一月十九日不圖も火災に罹りて全焼せしが程なく工事に着手し全二十五年 竣工全くあるに及んで遂に帝國議會開會の式を擧げたり構造の美麗なること前議事堂の比に非ざるあり
- 鹿明館 内山下町にあり、館内に庭園を設け芝生を敷たる風致閑靜實に清々として恰も仙境に入るの念ひあらしむ、此館は貴顯紳士の宴會及び賓客の吾國に滯留

する者をして宿泊する所なり、又夜會などありて、演藝矯風踏舞など時々催すことあり

●帝國ホテル 全所にあり、府下旅館の第一等にして、内外紳士等の宿泊する所なり、西洋風にして宏麗なり

●日比谷太神宮 日比谷門の内に入り、伊勢兩宮を遷せし宮殿にして境内に櫻樹數十種を植ゆ、花の時は一層美觀を添ゆ

●日比谷ホテル 有樂町にあり、木造にして美あり

●東京府廳建築場 數寄屋橋内、有樂町にして目下工事中なり、成工の上は頗る美事なるべし

●二重橋 舊西九大手の所なり、舊城の内構と外構との間深き濠に架れり、其下に橋桁を亘し、上に亦た橋杭を建て架す、其下更に一橋あり、狀目眼の如くにして、二重に見ゆ、故に二重橋と號く是れ舊城の正門にして奇觀敢て比なし

●淺草區案内

●第六天社 淺草茅町より東の方へ二十歩斗り入る所、上平右衛門町にあり、祭神は面足尊、惶根尊の二神あり、祭典は毎歲六月五日なり

●須賀神社 天王橋の手前須賀町にあり、素佐鳴命を祭れり、俗に團子天王と稱して大祭日に團子を商ふ店多し

●御藏前 天王橋を渡りて東の方を上口の、其次を中の口、其次を下口の爲す幕府の頃此所を御藏と稱して扶株米を納し藏なり、當時大藏省に屬して米倉たり

●西福寺 藏前通り南元町の横手にあり、禪宗四ヶ寺の一にして、府下有名の寺院あり、寺内に東照宮を祭れり、四月十七日を祭日と爲す

●石清水八幡宮 北元町にあり、元祿五年の勸請あり

●厩橋 淺草三好町より、本所外手町へ架す、長サ八拾六間にして美麗たる鉄の釣橋あり、舊幕の頃厩河岸と稱へて渡船場にてありたり

●諏訪神社 石清水八幡より二丁斗先、左側にして諏訪町の中程にあり信州諏訪明神を勧請せしと云ふ

●駒形堂觀世音 諏訪明神より一丁斗先の中程にして大川端によりし所にあり、本尊馬頭觀世音に祈誓する者紙をよりにて駒の形を作りて納む故に號けて此所を駒形町と云ふ

●吾妻橋 府下六大橋の一にして淺草廣小路通りより本所竹町川岸へ架す、長サ八十一間幅七間四尺、美麗壯嚴たる鐵の釣橋あり、此橋梁たる満水の衝に中りて數々落破爲すにより、明治十八年彼の釣橋の工事にかけり、二年の後ち遂ひに橋梁中第一等の美橋とされり此工事は工學博士原口要氏の造る所にして人道、車道、あり、左右を人道とし中央を車道と爲す、人道の鐵欄に瓦斯燈を設く一見して人目を驚かすもの此吾妻橋あり

●淺草寺觀世音 淺草公園中にあり本寺は坂東十三番の札所にして金龍山淺草寺と

云ふ雷神門より二王門の間両側煉化石を以て造れる店皆な繁昌す是れを觀音の仲見世と號く本尊觀世音菩薩の緣起は人皇三十四代推古天皇の御宇、進、中臣、罪を得て左遷に逢ふ、其臣檜熊、濱成、武成、兄弟、主を助けて漁夫となる三十六年三月、三人宮戸川(今の隅田川)の沖に出て網を下す、奇なる哉一寸八分、觀世音の黄金佛を得たり、よりて仮に堂を建て之を崇む、後ち三十六代孝徳天皇大化元年、沙門勝海新に堂塔を建立す、於是彼の上人を本山の開基と爲す、天慶五年安房の國主平金雅、堂塔を再建す、承暦三年十二月四日回祿す、七十六代近衛天皇の御宇源義朝參詣して奇瑞を感じ別に佛像を作りて奉納す治承四年源頼朝平家追討の爲め、三十六丁の田園を寄附す、足利高氏も亦た寺領を寄進す、其後小田原北條家に於て、再興し、忠善上人を以て本寺の別當と爲せり之れ、淺草寺の略縁起なり其後徳川家康公入國して此靈像の信仰厚く、遂ひに堂閣を改築せられて東都第一の大伽藍に爲したり、亦た觀世音の右の方に淺草神社あり是れ

檜熊、濱成、武成の神靈を祭りし社なり

●淺草公園 舊淺草寺境内にして奥山たり、明治六年官之を公園と爲し觀音の樓閣周圍にありし所の觀物小屋悉く破壊して、之に設くるに四季の草花或ひは池塘などを造る、其結構美觀にして實に六大公園中第一の勝地たり、又池塘の周圍及び公園中に寫眞師、揚弓店、凌雲閣、飲食店、觀物等種々あり故に終日此地に遊ぶも亦た飽事を知らず、都鄙人の來りて快樂を極る場所は亦た此地を置きて他にあし

●凌雲閣高塔 公園中にあり長サ二百二十尺總て煉瓦を以て積む、其高樓ある雲際に聳ゆ此樓に登りて四方を眺望すれば遠く富岳は勿論房總の山々或は常陸の筑波山は云までもなく、其望む所遙にして活眼の能く及ばざるに至る、亦た樓閣内の美觀ある一見して轉た感嘆に堪へざらしむ、亦之れを十二階と爲す、一階毎に商品を陳列して登客の需みに應ずるに正札を以てす、其他器械を用ひて諸人を十階

に引揚るなど況々あり實に公園中見物所の一奇觀たり

●公園裏千束町 此地は公園に續きて閑靜にして亦た繁昌の地あり、劇場及び割烹温泉其他の飲食店等何れも美味を以て客を迎ふ

●待乳山 今戸橋の手前聖天町にあり、欣喜天を祀りし所にして、山上より隅田川の流れを臨み、亦た墨堤の櫻花を眺望なす等、絶景云ふ斗りあし淺草區に於て觀花、觀月、觀雪等の快を樂ましむる所は獨此待乳山の他絶て有ることなし

●衣紋坂 吉原大門口へ下る坂を衣紋坂と云ふ、往昔此里へ來る者此所にて衣紋を繕ふて入りしを以て斯く號けたりと云ふ、見返り柳の坂の左傍にあり、是れ亦た遊客後朝の名残を惜みて跡を見返ると云ふを以ての云あるべし

●新吉原 府下第一等の遊廓にして普く世人の知る所あり往昔葎原と云ひ後ち吉原に改む亦た芳原とも云ふ、大門鐵製にして門柱に櫻癡居士の撰筆二句を書せり「秋信先通、兩行燈影」廓外を五十間と云ひ廓内を仲の町と云ふ左右に引手茶屋

櫓を並べて遊客を迎ふ山、桐半、信濃屋など尤も有名あり、娼家は五丁街にして江戸町、京町、揚屋町、角町、伏見町、の五丁あり、就中五大樓と稱する娼家は彦太樓、太文字樓、品川樓、稻本樓、紅髯樓の五軒にして余の中見世、小見世あり、引手茶屋の案内は本店中見世、までとす、小見世の分り客と娼家と相對にして定む、弦歌器々として絶す、眞に此れ不夜城の世界と仮言せしも亦た空言にあらざるべし、左に吉原の起源を述べて参考に備ふ

吉原は舊、今の人形町通り菅屋町、堺町、新和泉町、邊より吳服店大丸の所に當りてあり、故に彼の地を指して大門通と稱ふ今の吉原は其頃龍泉寺村と稱し地にして明暦三年まで依然として舊の如くあり、然るに小田原の庄司甚左衛門ある者、幕府の許可を得て明暦三年八月移轉料として、官金一万三千兩を賜り彼の龍泉寺村の田地を埋地として此處に娼家を移す、云々とあり猶詳細は江戸名所圖繪、亦た吉原大全、北女郎起源等と云へる古書に就きて探知すべし

●燈籠會 毎歲七月に到れば燈籠會あり、是れ昔玉菊と云へる名妓あり、一朝鬼籍に入りしを、人々嘆するの余り、其翌年玉菊追福の爲めとして仲の町の茶屋こざりて、玉菊の靈を慰めんとして店毎に燈籠をか、けて賑はせるを、後ち例として今猶存す

●俄舞 俄舞の始めは享保年間にて吉原稻荷の祭禮に當り幫間等か催せしと云ふ今尙存して毎歲九月に到れを之れを行ふを例とす

●高尾太夫の墓 吉原の名妓二代目高尾は三浦屋四郎左衛門の抱へにして、遊君の譽れ高き事は世上能く知る所なり、同人の墓は淺草新鳥越吉原の土手の上り口一俗に土手の道哲と云ふ西方寺境内にあり法名傳譽妙心信女、萬治三年と記せり其傍に高尾の楓とて一株を植たり

●今戸の八幡宮 今戸橋の先今戸町にあり、祭神は石清水八幡の遷しにして祭禮毎年八月なり

●齋藤別當實盛の墓 橋場町法源寺にあり、法名篠原院、前、左金吾從五位下、徳山覺道眞阿大居士、壽永二癸卯年五月とあり

●千葉之介守胤之墓 全所總泉寺にあり、法名總泉寺殿長山昌愷大居士、弘化二丁巳年十一月八日卒す、守胤は當山中奥の開基あり

●鷲の神社 淺草田甫にして吉原の勝手あり、毎年十一月酉の日を以て祭典を執行す、之れを酉の市と號けて府下こぞりて參詣す、熊手唐の芋、栗餅、など賣る店甚だ多し

●東本願寺 淺草菊屋橋の際にして開山の教如上人、京都室町の輪番あり、舊地は神田されども明暦の大火に焼失せしをもつて、此地に移る、毎歲七月七日立花會亦九開山基を執行す、特に十一月十一日より廿八日迄講義を開く、之を俗に門跡の御講と云ふ

●法恩寺 東本願寺の東隣にあり、一向宗にして宗祖上人の遺跡にて廿四輩の隨

一あり

●誓願寺 東本願寺の北にあり、淨土宗にして東都四ヶ寺の一たり、開山は蓮社東譽上人なり

●溝店の祖師 淺草永住町長遠寺にあり、日蓮大士の尊像を安置す里俗之れを溝店の祖師と云ふ

●瓦器薬師 同寺の並び東漸寺にあり、本尊薬師如來祈願の者は瓦器を納む、故に號けて瓦器薬師と云ふ

●三島神社 淺草壽町(淺草通り駒形の西横町)にあり、祭神は大山 祇命にして、祭典ハ五月十五日なり

●宗吾靈神 森下町にあり、下總宗吾靈神の遷しにして參詣多し

●鳥越神社 元鳥越町にあり、天兒屋命、日本武命の二神を祭れり、此邊の鎮守にして毎年六月九日大祭あり

●深川區案内

●富岡神社 深川公園中にあり、深川八幡とも云ふ、應神天皇を祭る寛永元年の鎮座にして、全八年宮殿全く建立す、祭典の毎歲八月十五日神輿三體を出す、本所一ツ目に御飯屋を設く

●成田山不動明王 全所にあり、下總成田山の出張所にして、毎月廿八日を以て縁日とす、府下の信者甚だ多し

●富岡公園 元深川八幡の社内なり、明治六年官之を公園と爲す方今六公園の一にして園中に種々の花卉あり、風色亦た佳と云ふべし

●越中島 海濱新田にあり、舊越中侯の領地なるを以て斯く稱ふ、維新後練習場として、時々實地大砲の練習あり

●洲崎神社 富ヶ岡より東の方八丁斗り、洲崎町にあり、舊辨財天と稱ふ、市杵島命を祭る、天祿十四年の開基にして、四方の海原を眺望し景色佳良の地たりしが地租改正に逢ふて今僅に社を残すのみ

●全所遊廓 全所辨天町にあり、明治廿一年七月根津の地より此處に遊廓を移す、高樓の新築吉原に劣らず、就中大八幡樓の宏麗ある、此廓内に比なし、四方海岸に臨んで眺望特に絶佳あり、本年仲の町の左右へ櫻柳を植ゆ、亦た大門あり、其全盛吉原に亞ぐ所此遊廓を置きて他にあらざるべし

●深川木場 州崎神社の東北にして、府下有名の材木問屋の場所なり

●海福寺 全所寺町にあり黄蘗派の禪林にして開山は隱元禪師なり亦た本尊は釋迦如來にて、十六阿羅漢を安置す

●靈岸寺 全所にあり、道本山と號す、淨土宗十八檀林の一にして開山は靈岸和尚あり、毎年四月一日より十日まで千部修行あり

●淨心寺 全所にあり法苑山と號す、日蓮宗にして身延の派あり、開山は日義上人ありと云ふ

●一螺寺 當寺ハ宣雲寺と號す、英一螺の畫以て襖其他屏風等に到る迄悉く張故に人呼んで一螺寺と號く

●芭蕉短冊塚 深川森下町長慶寺にあり、其角嵐雪の墓も其傍にあれば、おそろくは後人の建立あるべし

●本所區案内

●回向院 東兩國にあり、當山は稱念上人の遺風にして捨世一派の佛寺あり、明曆の大火に焼死したる者追福の爲めとて毎歲七月七日大施餓鬼を執行す、亦た境内に出世相撲の場所あり、相撲の本場所たる回向院の外他にあり、特に諸佛の宿寺として時々開帳ありて尤も賑ふ寺院なり

●義賊鼠小僧之墓 回向院境内にあり、盜賊鼠小僧次郎吉の墓あり、常に參詣ありて線香の煙り絶す、如何なる因縁にや

●羅漢寺 本所五ツ目にあり、天恩山と號す黄蘗派の禪林にして五百羅漢を安置し

亦た螺堂ありたれども焼失せり當山ハ江東第一の古刹と稱す

●彌勒寺 全所松井町にあり、眞言宗新義の觸頭にして東都四ヶ寺の一たり、總門の扁額彌勒寺の三字を書せしは朝鮮人の手蹟なりと

●龜井戸天満宮 龜井戸町にあり、寛永三年の鎮座にして菅公を祭る、境内に池塘あり架するに二橋を以てす、其狀太鼓を截半せしに似たり號けて太鼓橋と云ふ、此邊藤棚多し茶店數ヶ處あり、花の盛りは都鄙の人參詣を兼て群集せり

●臥龍梅 同處清香庵の園中にあり、其狀恰も臥龍に似たり、故に臥龍梅と號く、古木にして亦一奇觀たり、二月觀梅として此地へ杖を曳く者多し

●柳島妙見 天満宮の裏手掘割を越て向側を柳島と云ふ、境内に靈樹あり既往傳へて白蛇の棲しきと云へり今は絶て見へず

●押上萩寺 柳島より小梅へ出る堤を押し上堤と云ふ萩寺は此處にあり萩の盛りに到る頃、雅人、名所として杖を曳者あり

●吾妻神社 龜井戸天満宮より四五丁辰己の方へ往く、小村井にあり、橘姫の墓廟なり、景行天皇七十六年乙卯の鎮座にして江東第一の古蹟あり

●業平天神 本所業平町にあり、在原業平朝臣を祭りし神社なりと云ふ

●隅田堤 利根の下流を隅田川と云ふ之れに沼ひたる堤を隅田堤、亦た向島堤、墨堤、おど況々に稱す府下第一の名所にして小梅町の始まり熊谷驛に達す此間凡十六里と云ふ、天正二年小田原北條氏之を築く、後ち幕府に於て三圍神社より木母寺際まで、櫻樹數千株を植ゆ、春風暖を醸すに及びて、紅白枝を交へて咲はこり堤上宛然錦繡を敷に似たり貴賤老若、散々伍を爲し、伍亦た隊を爲す、十里の長堤寸地を余さず、醉吟、酹歌、三弦の調子に混じて宛然湧が如し、之れを墨堤の觀花と稱して府下第一の遊樂たり、左に亦た此地の名所を擧ぐ

●三圍神社 隅田堤の下、小梅町にして境内に俳人其角雨乞の碑あり亦た門人秋色の額などありて共に名高し

●牛島神社 全所須崎町にあり、舊名牛の御前と稱す本所區の總鎮守にして素盞鳴命清和天皇第七皇子の二神を祭り、祭禮は毎歲九月十三日より十五日までとす

●長命寺 牛島神社の左隣にして風流人の碑多くあり、亦た芭蕉雪見堂の舊地とて芭蕉庵あり

●弘福寺 牛島神社の右隣りにて黄檗の禪宗にして洛陽の万福寺を移す本尊は釋迦如來、開山の鉄牛和尚あり

●白髻神社 全所寺島にあり祭神は猿田彦命を祭る、延暦の頃近江の國志賀郡より此地に勧請す、祭日は、九月十五日なり

●秋葉神社 全所請地村にあり、遠州の秋葉神社を勧請せしと云へり、境内に名木あり、神泉の松と號く、閑靜の地にして特に楓樹多しと聞く晩秋の頃を最も佳とす

●水神社 木母寺の方へよりたる田の中に在り古松一叢の森をなせし許に祠あり櫻

花満開の頃堤上の花を望見すれば香雲霞をあして亦た雅人の意を娛ましむ

●百花園 全所寺島にあり、新梅屋敷と號く「春夏秋冬花絶す」詩佛の聯句を空うせず、四季の草花時知り顔に咲出で雅人を待つ、就中秋の七艸をもつて此園中の第一と爲す

●小松嶋 白鬘神社より二三丁先にして小松島の三字を掲ぐ園中に池塘あり、すべて奥州松嶋の風致を摸す、春夏の侯貴賤とさく此園に遊觀して終日の娛みを爲す

●竹屋の渡 言問の岡の手前にして隅田堤より今戸橋、山谷へ亘る渡場あり春時櫻花満開の時渡船する者甚だ多し

●木母寺 隅田堤の下にして梅柳山隅田院亦た梅若寺と云ふ、天台宗にて五智如来を安置す、貞元年間の創立なり、慶長の頃、近衛關白信尹公東下の時、此寺へ駕を枉げられしより、以來木母寺と稱せり

●梅若塚 全寺の境内にあり、例年四月十五日吉田の公達梅若丸の忌日あるを以て念佛を執行す、梅若丸の京都北白川吉田少將惟房卿の子なりと云ふ

●南葛飾郡案内

●綾瀬川 木母寺と關屋の里との間を流れて淺川に入るを綾瀬川と云ふ看月の賞文人墨客其幽境なるを愛して杖を此所に曳く者多し

●堀切里花菖蒲 此地の菖蒲の名所にして其名高し、植木屋武藏屋などの園中に數種の名花を植ゆ花の頃人多く群集す

●柴又村帝釋天 柴又村驗經寺にあり、日本橋より凡そ三里、毎月庚申の日を以て參詣の人群集す

●南足立郡案内

●千住驛 陸羽日光兩道の首驛にして商家旅亭櫓を連ねて頗る繁昌せる處あり
●千住大橋 千住川に架す長サ凡そ六十間にして府下六大橋の一たり、又河水の利

根より下りて隅田浅川を流れて海に入る

●梅田天神 千住街道竹の塚の手前より南の方へ少し入る處にして梅林寺にあり

●梅田神明社 全所にありて天照太神の御社にして唯一神道の祖、井上正鏡大人の居れし所にして、今尙歴然たり

●西新井村の大師 全所總持寺、眞言宗の寺院に安置す、此の尊像ハ大師御自作のものにして靈驗殊に著るし、毎月廿一日以て開帳す

●北豊島郡案内

●高田穴八幡 高田馬場下町にあり、寛永年間周防山口の僧都、良昌此地に草庵を造んとて地を穿ちしに地底に少き穴ありて其口より三寸の佛像を得たり、依之て穴八幡の名を起せりと傳ふ、元祿年間徳川嚴有院殿社殿を造營せしより以來世に聞こゆと云ふ

●落合盛狩 高田姿見橋より三丁余り川上にあり、此所盛のみあらず観月の名勝と

して雅人多く杖を曳くと云ふ

●板橋驛 中仙道の首驛にして上板橋、下板橋等あり練馬通を上とし本通を下と爲す娼家あり、旅亭あり、商賈共に繁昌の地あり

●道灌山 谷中諏訪臺の谷を隔て北の方を道灌山とす、既往太田道灌、江戸城の砦とせし城山の名ありと傳ふ、此地遙に東方の廣野を見晴し亦た虫聲を聞くの名所たり

●日暮里 俗に日暮里と云ふ、谷中感應寺の裏門の邊より道灌山を界として稱ふ四時の百花絶へず、殊に櫻花の頃は取分て群集す

●飛鳥山 王子村にあり、明治六年官公園と爲す、府下六公園の一なり花の頃は數百種の櫻花笑ひ初め、亦た山上より崖下を臨めば、荒川の流白布を敷き、涼車、製紙場の黒煙宛然雲を起すに似たり、晴天遙に遠山を望めば、北に筑波、西に富士、亦た眞間鴻の臺を一目に遠見する等真に、一勝景の地と云ざる可からず、近

時外國人此地を賞して杖を曳く者殊に多し

●王子停車場 上野より横川行の流車に乗じて上下を試む首めあり、花の頃亦瀧の頃等臨時流車を發して殊に雜沓せり

●王子製紙場 器械をもつて西洋紙を製造する所にして頗る宏麗なり、殊に縦覽なすことを得るなり

●王子神社 熊野三社を勧請す、文龜元年の建立にして毎年七月十三日祭典あり、近來鉄道便ありて參詣殊に多し

●王子稻荷 全所にあり、稻倉魂命を祭る、此社府下を離るゝと雖も祭詣する者殊に多く、且つ有名の社なり、毎年二月午の日大祭を執事せり

●不動の瀧 全所にして音無川に臨む不動堂の後ろ數十歩、阪路を下る處に濕布のり、飛泉滔々として峭壁に越るを以て涼風亦た肌を覆ふに似たり、蒼樹常に茂鬱たれば暑熱を避けるに最も好所なり

●王子名主の瀧 王子神社より二丁余り先にして飛泉二樋あり、一樋は太く、一樋は少あり、之れを名主の瀧と稱して避暑の候貴賤の論なく皆な此瀧に浴する者多し之を王子村瀑布中第一等と爲す

●瀧の川楓樹 王子神社の麓を流るゝ川を瀧の川と云ふ、此邊楓樹殊に多し、故に晩秋の頃其風色を愛して雅人杖を此所に曳く者甚だ多しと云ふ

●東多摩南豊島二郡案内

●大久保の映山紅 大久保村にあり、晩春の候花盛りにして暮夕陽に映じて美觀を呈す、群客之を愛して杖を此地に曳く

●内藤新宿 四谷塩町より先を内藤新宿と云ふ(舊内藤家の邸地たり)甲州街道の首驛にして娼家軒を並て繁昌す、近時鐵道(甲武鐵道)の停車場設立して八王子迄の便あり、府下四宿中、當時繁華ある驛は此新宿を以て第一と爲す

●堀の内妙法寺 堀の内村にあり、日圓山と號す、當時は日蓮宗一派の大寺院にし

て宗祖上人の御像は日朗師の作なり、毎年七月法華經千部、十月十三日御影供を修行す、俗に之れを御命講と稱して當日此宗徒の參詣に出る者亦た其幾許なるを知らず、實に盛大の事と云ふべし

●十二所熊野神社 淀橋の南角等村にあり、祭神ハ紀州熊野神社と全く、境内に池塘あり、風景頗る佳し其池水の落口を瀧と爲せり、炎暑の候此瀧に浴せんと納涼を兼て參詣に出る者甚だ多し

●小金井の櫻花 玉川上水の堀割にあり、元此櫻は台命によりて吉野の櫻花數万株を堀割の兩岸に植ると江戸名所圖會に見へたり、然るに中頃にして其數を減ずるとあり、近年、官、亦櫻樹を倍せしを以て舊に復す満開の候、兩岸の櫻花風に誘ふて水面を埋むる様、宛然白雪の降り積むに等し、亦た小金井橋に立して櫻花を觀れば白雪相對して正に下るのと念ふ斗り、其雅、其風、亦た想像すべからずと云ふ、近時鐵道の便あり、内藤新宿の停車場より國分寺まで乗車すれば、寛々

觀物して亦た歸りを便す

●中野法泉寺 中野村にあり庭内に四國八十八ヶ所の弘法大師を安置す

●荏原郡案内

●目黒不動堂 荏原郡目黒村にあり、泰叡山龍泉寺と號く、天台宗にして慈覺大師の開山あり、境内に神社佛閣多し、此地の名産目黒鮎あり諸人求めて土産と爲す又獨鈷の瀧あり、俗に之を不動の瀧と云ふ靈泉浴々として避暑納涼に群集する者多し亦た牡丹の名所あり共に名高し

●祐天寺 中目黒村にあり明顯山と號す享保年間二世祐海和尚の草創にして祐天大僧正の開基たり本山に祐天僧正の着せし行衣及び種々什物あり毎年七月十六日より廿五日まで常行念佛を執行す道俗群參し、以て讀經を爲す

●太鼓橋 目黒川に架す、石を以て作る、形狀太鼓に似たり、東京にて石橋の始めと爲すもの此橋を以て嚆矢と爲す

●比翼塚 目黒虛無僧寺にあり、白井權八遊妓小紫の塚とて多く人々に膾炙する所あり

●白金清正公 白金村にあり、清正公自筆の画僧にして信者甚だ多し毎歲六月廿四日大祭を執行し、勝負守を出すを例とす

●品川驛 東海道五十三次の首驛にして四宿(千住、板橋、新宿、品川)中第一等たりしが近來少しく衰微せしと云ふ

●品川沖潮干 大森浦田高輪の河邊を品川灣とす、舊曆桃の節句頃貴賤の男女潮干とて海中に入りて貝を拾ふて娛みと爲せり

●東海寺 全所の番場にあり、萬松山と號す、京都大徳寺派の禪宗にして寛永十五年淨庵和尚命を奉して開創せし寺院なり

●海晏寺 最明寺時頼の開基にして大覺禪師を開山とす、境内に楓樹多し晦秋の頃に到れば滿庭錦繡を敷に似たり、寺中に最明寺時頼の墓●二階堂出羽守の墓●贈

正一位太政大臣岩倉具視公の墓碑等あり、府下有名の古刹にして亦九幽趣の寺院たり

●貴船神社 品川中の橋南岸、街道より少く右の方にあり、午頭天王合祀の社にして品川の鎮守とす祭日は九月五日全十五日の両日なり

●蒲田村梅園 大森村の先蒲田村にあり、山本の庭中を指て云ふ、梅花盛りの時は都人瀛車に乗じて多く此地へ来る、又、奈良茶漬と稱して漬物の名物なり

●池上本門寺 池上村にあり、日蓮大士弘法の一本寺にして三頭と稱す(三頭とは身延及び中山、亦た當山を云ふ)弘安元年の開創たり、祖師日蓮大士の御像は日洞上人の作と云ふ、坊舎三十六坊あり、毎年十月十二十三の両日信徒群集して本堂に一夜を明す之れをお籠りと云ひ傳ふ

●新田神社 六郷の脇新田村にあり新田佐兵衛佐、義興の靈を祭る之を新田明神と云ふ、毎歲十月十日大祭の節、紙竹を以て造れる弓矢を賣る、參詣人之を購ふて

社前へ奉納すると云ふ

●北多摩郡

●六所神社 府中驛の左側にあり六月頃御田植の神事として人民早苗を携へ來り集りて神田の中にて唄ひ舞踊あがら植るといふ

●南多摩郡

●多摩川 日本六玉川の二つにして當國第一の勝景なり鮎を此川の名産とす故に夏秋の間遊漁人多し

●百草松蓮寺 高幡より十二丁斗り東南の方百草村にあり源頼義義家奥州征伐の時此地を過り投宿をなせしといふ有名な寺なり

●御嶽山 祭神は日本武尊あり人皇十二代景行天皇の四十年日本武尊東夷を征伐し玉ひて武具を當社に納め玉ふ依て國の名を武藏と號け玉ひたりと云ふ今を距ると一千七百八十四年以前のとあり

●西多摩郡

●多摩川上水源 甲州丹波山に發し當國に入りて御嶽山の麓を経て青梅の南に傍たる羽村にて分流して東京四ッ谷より入りて市中の用水とある又本川は秋川淺井川等に落合ひ東流して玉川六郷川とあり海に會す

此他東京名所と稱するは其數盡し難き程なれども紙數に定限あるを以て以上記するの外之れを畧せり焉

●區役所の位置

麴町區	麴町一丁目
日本橋區	蠣壳町三丁目
京橋區	日吉町
芝區	愛宕町三丁目
麻布區	市兵衛町二丁目

赤坂區	表町一丁目
四谷區	新堀江町
牛込區	市谷八幡境内
小石川區	金富町
神田區	錦町二丁目
本郷區	本郷四丁目

下谷區	仲徒町四丁目
淺草區	馬道町一丁目
本所區	相生町五丁目
深川區	靈岸町
●郡役所の位地	
荏原郡	元品川宿

區役所の地位

<p>東多摩 東多摩郡 淀橋元柏木村</p> <p>南豊島 南豊島郡 元下板橋</p> <p>北豊島 北豊島郡 元千住一丁目</p> <p>南足立 南足立郡 八王子町</p> <p>南多摩 南多摩郡 青梅町</p> <p>西多摩 西多摩郡 府中驛</p> <p>北多摩 北多摩郡 元西小松川村</p> <p>南葛飾 南葛飾郡 元西小松川村</p> <p>●憲兵分屯署位地</p> <p>第一管區 屯署、大手町一丁目 麴町分屯署、麴町一丁目</p>	<p>日本橋全、小傳馬上町</p> <p>第二管區 假屯署、芝區車町 車町分屯署、車町 北浦田村分遣署、浦田村 青山分屯署、青山御所前 深澤村分遣署、荏原深澤</p> <p>第三管區 小石川分屯所、全春日町、 四谷分屯所、植物御園前</p> <p>第四管區 屯所 下谷區車坂町、和泉</p>	<p>町分屯所、和泉橋通、本郷分屯所、本郷六丁目</p> <p>第五管區 屯所 本所横綱一丁目、深川分屯所、全東大工町、千住分屯所、千住町、西小松川分屯所、小松川</p> <p>第六管區 屯署 北豊島郡板橋町、王子村分屯所、王子村、新宿分屯所、新宿町、堀内分屯所、堀の内村</p>
---	---	--

<p>●警察署位地</p> <p>麴町警察署 麴町八丁目</p> <p>神田警察署 神田須田町</p> <p>全 分署 神田佐久間町</p> <p>日本橋警察署 日本橋久松町</p> <p>全 分署 全新右衛門町</p> <p>京橋警察署 京橋區京橋際</p> <p>全 分署 全靈岸嶋將監河岸</p> <p>芝警察署 芝區愛宕町</p> <p>全 分署 全 車町</p> <p>麻布警察署 麻布飯倉町</p> <p>赤坂 全 赤坂表町</p>	<p>四谷 全 四谷傳馬町</p> <p>牛込 全 牛込神樂町</p> <p>小石川 全 小石川表町</p> <p>本郷 全 本郷元富士前町</p> <p>下谷 全 下谷西黒門町</p> <p>浅草 全 浅草象瀉町</p> <p>全 分署 全西鳥越町</p> <p>本所警察署 本所相生町</p> <p>全 分署 全中ノ郷元町</p> <p>深川警察署 深川富岡門前</p> <p>水上警察署 京橋區明船町</p> <p>全 分署 荏原郡大井村</p>	<p>品川警察署 荏原郡品川町</p> <p>新宿 全 内藤新宿町</p> <p>板橋 全 板橋町</p> <p>千住 全 千住町南組</p> <p>小松川 全 小松川村</p> <p>八王子 全 八王子町</p> <p>全町田分署 町田村原町田</p> <p>府中警察署 府中驛</p> <p>全田無分署 田無町</p> <p>青梅警察署 青梅町</p> <p>全五日市分署 全五日市町</p> <p>●注意</p>
--	--	---

五大劇場 小劇場

警察署は行政又司法警察との二種を區別す行政とは人民の安寧を保護し、司法は犯罪者を警戒逮捕す、地方の人若途中に於て間違ふとありたるときは最寄の派出所へ告訴すべし

●五大劇場

- 歌舞伎座 京橋區木挽町
- 深野座 新富町
- 明治座 久松町
- 市村座 下谷二丁町

中村座 浅草西島越町
以上を府下五大劇場と云ふ
此他本郷の春木座、本所の壽座等は、大劇場に屬せり皆な何れも上等の俳優出勤す

●小劇場

- 吾妻座 浅草千束町
- 浅草座 浅草壽町
- 藍染座 根津宮永町
- 柳盛座 下谷二長町
- 三崎座 神田三崎町
- 日吉座 赤坂溜池町

新盛座 深川區仲町
眞砂座 日本橋區仲洲
常盤座 浅草公園第六區
以上を小劇場と稱して中等以下の俳優出勤す

●注意

大劇場小劇場を論せず觀物あさんと欲さば木戸口より入べからず、是れ、各座毎に芝居茶屋あれば、茶屋へ上りて案内を請ふべし、普通考へると茶屋のら入は入

費が多くかゝるやうなれど決して然らず、茶屋は何れも深切に取扱かへばなり、木戸より入ては随分芝居の中に悪き若い者ありて田舎の人と見るときは奸策手段を用るべきにしも非ず斯る手段は今の古へと違ひ、なかるべき筈あれども、此懸懸たる多くは小劇場にあり宜く注意すべき事あり、亦た一、幕觀物をするには差

支へなし

●演説集會席

- 浅艸須賀町の 鷗遊館
- 京橋木挽町の 厚生館
- 麴町富士見町の 富士見樓
- 神田錦町の 錦輝館
- 芝公園の 彌生館
- 日本橋堀兜町の 春風館
- 以上ハ演説集會席及び貸席に便する爲めなり
- 講談落語寄席
- 日本橋木原店の 井上亭

- 全 瀬戸物町の伊勢本
- 全 人形町の末廣亭
- 全 兩國の福本
- 全 立花家
- 全 新柳亭
- 全 久松町の久松亭
- 全 よし町の金本
- 全 辨慶橋の岩井
- 全 馬喰町の常盤亭
- 全 浪花町の大るじ
- 全 元大坂町の若松亭
- 全 南茅場町の宮松

全 菅屋町の高麗亭 京橋區大鋸町の松川 全 南鍛冶町の講談場 全 銀座一丁目の金澤 全 全 四丁目の銀坐亭 全 三十間堀の壽亭 全 南鍋町のつる仙 全 北島町の住よし 全 龜島町の朝田 全 鹽岸島の川端 神田今川橋の染川 全 全 松本亭	全 皆川町の皆川亭 全 新石町の立花家 全 小柳町の小柳 全 進雀町の白梅亭 全 五軒町の日本亭 全 小川町の小川亭 全 神保町の川竹亭 全 和泉町の和泉亭 下谷池の端の吹ぬき 全 廣小路の本牧亭 全 全 鈴木亭 淺州並木町の並木亭	全 廣小路の淺州亭 全 花川戸の東橋亭 全 地内の辨天山 全 全 三社前 全 森下町の吉岡 全 聖天町の眞乳亭 芝區日影一の玉の井 全 久保町の榮壽亭 全 南佐久間町の惠智十 全 琴平町の琴平亭 全 西久保の千代本 全 三田の春日亭
---	---	---

全 西の久保の眞砂亭 全 三田の金本 全 神明町の小金井 全 大門の喜笑亭 全 金杉の宮金 全 全 扇浪亭 全 全 芝光亭 全 飯倉町の萬壽 全 三田の四ッ辻 麻布市兵衛町 八千代 全 長坂の富本 全 宮下町の宮下	本所外手町の石原亭 深川富吉町の富吉亭 赤坂田町の鶴舞 四谷簗笥町の金澤 全 天王横町の山本 全 荒木町の荒木 全 十三丁目の喜よし 麴町三丁目の方よし 全 五丁目の方長 全 全 元園 全 富士見町の岩本 全 九段坂の藤本	牛込神樂坂上のわら店 全 全 坂下の神樂 小石川音羽の目白 全 服部坂の服部 全 傳通院前の河原家 本郷竹町の若竹亭 全 元富士前町の元富士亭 以上に掲げる處の寄席は諸 軍談并に落語及び音曲、手 術、義太夫、等其他況々の 藝人出席して興を添ふ處な り
--	--	--

郵便電信支局

●郵便電信支局

日本橋電信支局 全橋際
 兩國電信支局 兩國橋際
 兩國郵便支局 浅草橋際
 東京郵便電信局 采女町
 芝口郵便支局 新橋際
 新橋電信支局 鐵道局内
 赤羽電信支局 赤羽町
 三田郵便支局 全同朋町
 麻布郵便電信支局 飯倉
 赤坂郵便電信支局 葵町
 四谷郵便電信支局 忍町

麴町郵便電信支局 麴二
 牛込郵便電信支局 肴町
 小石川郵便電信支局 水道町
 神田郵便電信支局 廣小路
 浅草郵便電信支局 萬世橋際
 本郷郵便電信支局 元富士町
 下谷郵便電信支局 山下
 深川郵便電信支局 永代
 本所郵便電信支局 元町
 以上記する處の郵便電信支局中郵便支局、電信支局とのみあるハ郵便取扱ひ又は

電信取扱ひ等各々異すればなり故に郵便支局とあるは郵便爲替貯金等の事務一切、電信支局とあるは電信及び電話事務一切を扱ふ處と知るべし、亦た郵便電信支局とあるはすべて郵便電信に關すること一切を取扱ふと知るべし但し左に官令を掲げて人々の参考に備ふ
 逓信省令第八號
 配達證明郵便規則左の通相

定め明治廿五年五月十六日より施行す

明治廿五年三月廿五日
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

配達證明郵便規則
 第一條 配達證明郵便は配達局の證明書を以て其郵便物の正に配達したることを證明するものとす
 第二條 郵便差出人其郵便物配達の證明を得んとするときは之を差出し局所に

請求することを得
 第三條 配達證明局は配達局より之を差出人に送附す可し
 第四條 配達證明郵便の書留郵便に限るものとす
 第五條 配達證明手数料は郵便物の何種に拘らず參錢とす其手数料の前納に限る可し
 第六條 配達證明手数料は郵便切手を其郵便物に貼付

したるを以て之を納めたるものとす
 第七條 配達證明郵便物の其表面に配達と証明記載すべし
 第八條 此規則は外國郵便に適用せず
 逓信省令第拾號
 明治廿三年四月逓信省令第八號中四拾圓を參拾五圓に改正し來る七月一日より施行す

逓信省令

九十六

明治廿五年四月廿一日
逓信大臣伯爵後藤象二郎

逓信省令第十號

參照逓信省令第八號(明治廿三年四月十九日)抄錄

電話交換規則、第十一條に掲げる使用料は東京市内に於ては一ヶ處は付年額四拾圓全則第十五條に掲ぐる電料は東京市内に於ては一人に付一通信時五錢と定む

郵便稅則

書狀目方二匁迄二錢、二匁以上四匁迄四錢、以上二匁毎に二錢を増

錢、以上卅二匁毎に二錢を増郵便爲替稅則

里程の遠近に拘らず五圓迄

五錢、拾圓迄拾錢、拾圓以上貳拾圓十二錢

一爲替の日々午前十時より

午後四時迄

一爲替二枚の金高卅圓限の事

一爲替の事に付郵便局へ差出す書狀は無稅たるべし

一爲替相渡亦ハ返却期限は

三ヶ月限り

普通書籍稅目方卅二匁迄二

小包郵便料

里程	量目	二百匁迄	四百匁迄	六百匁迄	八百匁迄	一貫目迄	一貫二百五十匁迄	一貫五百目迄
二十里迄	六錢	八錢	十錢	十二錢	十四錢	十七錢	二十錢	
四十里迄	七錢	十錢	十三錢	十六錢	十九錢	二十三錢	二十七錢	
六十里迄	八錢	十二錢	十六錢	二十錢	二十四錢	二十九錢	三十四錢	
八十里迄	九錢	十四錢	十九錢	二十四錢	二十九錢	三十六錢	四十三錢	
百 里 迄	十錢	十六錢	二十二錢	二十八錢	三十四錢	四十二錢	五十錢	
百五十里迄	十二錢	十九錢	二十六錢	三十三錢	四十錢	四十九錢	五十八錢	
二百 里 迄	十四錢	二十二錢	三十錢	三十八錢	四十六錢	五十六錢	六十六錢	
二百五十里迄	十六錢	二十五錢	三十四錢	四十三錢	五十二錢	六十四錢	七十六錢	
三百 里 迄	十八錢	二十八錢	三十八錢	四十八錢	五十八錢	七十一錢	八十四錢	
三百里以外	二十一錢	三十二錢	四十三錢	五十四錢	六十五錢	七十九錢	九十三錢	

小包郵便料

九十七

小包郵便物制限

容	積	重	量	價	額	登	記
長幅厚共	曲尺二尺	壹貫	五百匁	百	五	拾	圓

小包郵便規則摘要

一何品ヲ問ハス(毒藥、劇藥、爆發、燃燒シ易キ物品、風俗ヲ害スヘキ文書、新聞、寫眞及物品、信書又ハ信書ノ性質ヲ有スルモノ若ハ音信文記入ノ物品ヲ除ク)小包郵便トシテ差出スコトヲ得

但流動物、流動腐敗シ易キ物、孵化スヘキ物、動物、植物、鋸及器、硝子器、陶器等他ノ郵便物ヲ傷害スヘキ物品ハ郵便局所ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

二小包郵便物ハ價額登記トナスヲ得其場合ニハ郵便料ノ外ニ保險料ヲ納ムヘシ又登記スヘキ價額ハ實價ヲ超ニルヲ得ス

三小包ノ郵便料ハ遞信省ニ於テ定メタル里程表(郵便局所ニ備ヘアルモノ)ニ依リ之ヲ納ムヘシ(料金表別ニアリ)

四郵便局ノ市外ニ送ルモノハ其ノ重量ニ從ヒ別ニ左ノ場合ノ料金ヲ増納スヘシ

六百匁迄二錢 一貫目マテ四錢 一貫五百匁マテ六錢

五小包郵便物ヲ表書外ノ地ニ轉送ノトキ又ハ還付ノキ更ニ郵便料ヲ納ムヘシ

六價額登記ノ保險料ハ登記金額一圓マテ金七錢一圓以上ハ一圓迄毎ニ金一錢ヲ増ス

七小包郵便物ハ表面ニ小包ト記シ小包郵便取扱局所ニ差出スヘシ

八小包郵便物ヲ差出スキハ小包郵便取扱局所ヨリ送票(甲號)紙ヲ申受ケ之ニ式ノ如ク記入シ其ノ郵便料(別ニ手数料ヲ要スルモノ)ハ其手数料共(相當ノ郵便切手ヲ貼付シ之ヲ添フヘシ)

九小包郵便物ハ外包ヲ破却スルニアラサレハ内品ノ損傷セサル様其品質ニ應シ適當ニ包裝封緘スヘシ

價額登記ノモノハ外部ヨリ内品ヲ察知シ能ハサル様堅固ニ包裝シ之ニ三ヶ所以上封印ヲ施スヘシ

十郵便局所ノ承認ヲ得テ差出スヘキモノ又ハ惡臭ヲ發スヘキモノハ其ノ品名ヲ表面ニ明記スヘシ

十一小包郵便ヲ取扱ハサル郵便區内ニ送ルヘキモノハ最寄取扱局ニ特別留置トシテ差出スコトヲ得

電話案内 鐵道馬車案内

●電信料

一音信(和文片假名十字以内)但し住所氏名共(十五銭、十字以内を加ふる毎に十銭を増)

歐文五語以内(住所氏名共)二十五銭、一語を加ふる毎に五銭を増

東京市内和文一音信(住所氏名共)五銭、歐文五語以内十銭 但し和文十字以内を加ふる毎に三銭を増、歐文

一語を加ふる毎に二銭を増し

●電話案内

先づ電話所に到りて電話を懸けんとするときは先方の宛名何十番あるやを記憶し置くべし而して東京何番又ハ横濱何番なるやを通じ東京何番横濱何番と認め東京なれば一通信時五銭、横濱なれば十五銭を拂ふべし 後ち電話室に案内す、以上斯くの如くにして依頼すべし

●鐵道馬車案内

鐵道馬車の乗車定價は一區金貳銭あり 一區とは新橋より京橋を経て日本橋に到る、之を一區と爲す又日本橋より人形町を経て淺草橋に到るも一區なり、淺草橋より厩橋を経て雷門へ到る、是亦一區なり、新橋より淺草雷門までを以上三區と爲す、亦た

新橋より上野へ到るも亦た三區あり、此價金六銭なり 亦半區と稱するあり、新橋より京橋へ、京橋より日本橋へ、日本橋より人形町へ、人形町より淺草橋へ、以上の如きをすべて半區と爲す 半區の價は一銭なり、亦た往復切符と云あり、是れ往復の切符にして、二區以上三區までの間にあらざれば往復切符はなし、假令は

新橋に於て淺草までの往復切符を買求めて淺草に下り淺草より上野へ廻りて上野より新橋へ歸るも妨げなし 是れ其日の中なれば我思ふ儘に乗車することを得、此切符を求めれば一區一銭五厘にして乗車せらるることを得らるべし、亦た乗客の便利として特別割引切符と云ふあり一圓以上本分社にて買捌く、此切符は何日

絶つても乗車するに毫も差支へなし ●馬車人力車案内 普通の馬車は一區一銭五厘にして半區は一銭なり、新橋より雷門まで乗車すれば賃四銭あり、人力車は先づ二里七八銭位なれども鐵道馬車又は普通の馬車の通行する處へは別して安く乗車することを得らるべし

鐵道馬車案内 馬車人力車案内

●府下新聞社位地

時事新報社 京橋南鍋町	都新聞社 麴町内幸町	京橋區勤業場 京橋際
東京日々新聞 全尾張町	經濟雜誌社 彌左衛門町	第一商盛社 銀坐二丁目
東京朝日新聞社 澁山町	内外兵事新報社 山下町	第二商盛社 神田塗師町
讀賣新聞社 銀座一丁目	歌舞伎新報社 銀座四丁目	第三商盛社 新橋竹川町
毎日新聞社 尾張町	改進黨新聞社 南箱町	諸品大販賣所 銀座二丁目
朝野新聞社 銀座四丁目	日本新聞社 神田雉子町	諸品大販賣所 尾張町
中央新聞社 全	商業新報社 日本橋三代町	保有館 小傳馬上町
萬朝報社 三十間堀	民友社國民の友 日吉町	治集館神田區表神保町
自由新聞社 尾張町	出版月評社 銀座四丁目	共進館全 裏神保町
郵便報知新聞 三十間堀	以下略す	九段坂勤工場 九段坂下
やまど新聞社 全	●勤工場	勤工場 蛸先町二丁目
國民新聞社 日吉町	東京府勤業場 芝公園内	杉山勤工場 上野廣小路

有信館 牛込番町
萬有館 本郷弓町

以上配す處の勤工場の飲食物を除くの外百般の物品を陳列し其品毎に正札を附し厘毛の懸引等一切せざれば買物には至極便利と云ふべし就中東京府勤業場を以て第一等と爲す余はすべて之に亞ぐ

●飲食店案内

●注意

飲食店には上中下の三等あり、西洋料理は大概價を異にせざれど、日本料理に至つては往々其高下の區別あり、此れ價を食るに非ずして其品に善悪あればなり、品の美味なるは價ひ極めて高く、美味ならざるは極めて安き事は云ふまでも無しと雖も、不知案内者をして之を示さざれば往々不服に陥らしむるの憂なきにあらず、よりて余の前段に此事を掲げて、讀者の参考となす、假令ば、上等の飲食物を食せんと欲するも地方より始めて來りし人には如何なる飲食店が上等あるやを辨別すること能はず、亦た安直にして食せんとするも不知案内なれば之れを知るに便ならざるは勿論なり然れば美食せんと欲して其意を得ず、廉ならんと欲して

勤工場 飲食店案内 注意

不廉なるものを味あふ如きは實に遺憾とする處あり、予は東京に住してさへ時として斯ることあり、況して地方の人に於ておや、是れ家の大小に係りらざればなり、よりに上には●印、中には▲印を附して三等に區別す

●日本橋區

割烹 ●新設町 百尺 柏木
割烹席貸 ●萬町

料理 ●檜物町	倉田樓	全	▲北鞆町	伊豆勝
日本西洋▲通四丁目巴家	全	▲石丁四	櫻屋	
料理 ▲數寄屋町	菊住	全温泉▲茅場町	艸津亭	
▲元大工町	中安	料理 ▲鉄砲町	万安	
▲木原店	中和亭	全	▲蠣壳町	今清
●兜町	采芳亭	全温泉▲全三丁目	綾瀬亭	
▲箱屋町	古川	料理 ▲新乗物町	万安	
▲吳服町	菊本	全	▲新設町	万菊樓
▲瀬戸物町	辰己屋	全	▲全	千登世
▲伊勢町	信松	全	▲米澤町	深川亭
室町	美登利	全	●柳橋	生稻
青物町	中鐵	貸席料理 ●柳橋		龜清

料理 ●蠣壳町 福井亭
西洋料理

全 茅場町 彌生軒
全 元大工町 八洲亭
全 鐘橋 吾妻亭
全 蠣壳一 龍榮館
全 横山一 蓬萊軒
浦燒 ●田所町 和田平
全 ▲箱屋町 和田安
全 ▲通一丁目 万利
全 ▲箱屋町 海老屋
全 ▲西河岸 川魚商會

全	▲通二丁目	柳川
全	▲本銀二	海津
全	▲本石二	龜とみ
全	▲小傳馬二	金三
全	▲茸屋河岸	大野屋
全	▲小網四	川魚商會
全	▲新乗物町	大和田
全	●藥研堀	大國屋
全	▲横山丁二	伊豆屋
全	●柳橋	大常
全	天麩羅と魚類の揚物あり	
全	故人山東庵京傳(戯作を以	

て名高し) 翁存生中大阪の産某なる者をして戯むれば天麩羅の三字と與ふ、天は天竺浪人と云ふ意味、麩は小麦、羅は羅と云ふ義にて天麩羅と名けし云々と岩瀬百樹が著せる蛛の糸巻と云ふ書に見へたり
天麩羅店
全 ●横山町二 丸新
全 人形町 三定
全 横山町一 尾張屋

全	燒鳥、軍鶏、牛肉	全	木原店本店美喜家	全	生蕎麥	全	馬喰一	全	鴨南蠻
全	●數寄屋町	全	小網四	全	中初	全	小傳馬町淺田支店	全	
鳥料理	●茅場町	全	●蜘蛛二	全	南湖	全	●蜘蛛二	全	●數支店
軍鶏	●西河岸	全	●今清	全	●今清	全	●今清	全	●圓子坂支店
鳥	▲木原店	全	●大坂町	全	●川上	全	●川上	全	●川上
全	▲全	全	▲米澤町	全	●福崎	全	●福崎	全	●福崎
全	▲蜘蛛壳町	全	●淺草橋際第八いろは	全	●淺草橋際第八いろは	全	●淺草橋際第八いろは	全	●淺草橋際第八いろは
全	●堀留町	全	●通二丁目	全	●宇治里	全	●宇治里	全	●宇治里
牛肉	●茅場町	全	●日本橋	全	●笹屋	全	●大傳馬貳	全	●竹すし
全	●伊勢町	全	●室町二	全	●花むら	全	●本石三	全	●壽し又
全	●青物町	全	●今川橋	全	●福井	全	●木原店	全	●梅園
全	●吳服町第二いろは	全	●藥研堀	全	●せせう	全	●新霞町	全	●濱新

全	●京橋區	全	●水挽町	全	●精養軒	全	●竹川町	全	●北川
料理	●銀坐一	全	●南傳三	全	●青陽樓	全	●三十間堀	全	●尾末
全	●南鍋町	全	●銀坐一	全	●三國軒	全	●●三十間堀	全	●大國屋
全	▲尾張町	全	●彌左衛門町其樂亭	全	●●彌左衛門町其樂亭	全	●●彌左衛門町其樂亭	全	●●彌左衛門町其樂亭
全	●竹川町	全	●三十間堀	全	●三樂亭	全	●天麩羅並に茶漬	全	●大橋
鳥料理	●尾張町二	全	●●尾張町二	全	●●尾張町二	全	●●尾張町二	全	●●尾張町二
全	▲南鍋二	全	●南鍋一	全	●三橋亭	全	●尾張丁	全	●天源
全	●草屋町	全	●田舎汁粉	全	●千とせ	全	●三槐樓	全	●三槐樓
全	●藥研堀	全	●柳屋	全	●萬安	全	●伊勢定	全	●伊勢定
全	●人形町	全	●●驚の森	全	●●壽美家	全	●●壽美家	全	●●壽美家
全	●住吉町	全	●●甘泉堂	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭
全	●鮮兼料理 本石三	全	●●天狗鮮	全	●●天狗鮮	全	●●天狗鮮	全	●●天狗鮮
全	●西洋料理	全	●●西岸河岸	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭
全	●出雲町	全	●●出雲町	全	●●出雲町	全	●●出雲町	全	●●出雲町
全	●溫泉兼	全	●●木挽一	全	●●萬安	全	●●萬安	全	●●萬安
全	●貸席兼	全	●●築地一	全	●●壽美家	全	●●壽美家	全	●●壽美家
全	●料理	全	●●靈岸河岸	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭	全	●●永秀亭

全	龜住町	山もと	壽し	黒江丁	みやこ	全	●全	大文
全	仲町	川清	團子	全	深川團子	温泉兼▲全	●全	有馬亭
蒲焼	東仲町	美家川	蕎麥	池辨天	米市	料理▲全	▲全	新柏家
軍鶏兼	富岡門前	同支店	全	大工町	藪本店	辨當兼▲全	▲全	福岡
全	龜住町	高橋	●本所區			天狹羅	元町	寶來屋
全	東元町	今仙	割烹	●藤代丁	青柳亭	蒲焼	全	洲崎屋
軍鶏牛肉			貸席	●元町	中村樓	軍鶏	全	坊主
軍鶏	常盤丁	家壽常	料理	▲全	井生村	牛肉	相生町	金子屋
牛肉兼	佐賀町	大金亭	料理	●柳島	はし本	壽し	▲元町	與兵衛
牛肉	常盤町第七いろは		全	●枕橋	八百松	全	相生町	相生館
料理兼	仲大工町	浪花	温泉兼▲向島	磯部亭		●神田區		
牛肉	洲崎	三省亭	料理	●全	植半	料理	●神田社内開化樓	

全	●講武所	花清	全	五軒町	柏家	牛肉兼	錦町	今文
全	松下町	櫻井	全	▲柳原	川升	牛肉	淡路町	中川
全	三崎町	魚清	全	松樹町	鮎龜	全	神保町	金子
全	▲須田町	松田	全	三河町	横川	全	全	宮川
全	神保町	魚芳	全	鍋町	福清	全	連雀町	第六いろは
全	連雀町	今金	全	▲雉子町	川魚商會	全	五軒町	中川
温泉	▲雉子町	榮國亭	全	岩本町	高崎	全	美士代町	神田川
料理			軍鶏兼	佐久間町	春木	全	猿樂町	松本
西洋料理			軍鶏	鍛冶町	今金	全	天狹羅	五軒丁
全	錦町	生養軒	全	鍋町	今松	全	平川丁	天虎
全	淡路町	萬代軒	全	須田町	鳥常	全	鍛冶丁	中野
全	美士代町	三河屋	全	旅籠町	今用	茶漬	外神田	宇治の里
蒲焼	●明神下	神田川	全					

鮎	連雀町	帆かけ	料理	廣小路	松田	天麩羅料理
汁粉	淡路町	紅梅	全	▲公園	萬梅	雷神門
全	外神田	太々餅	全	▲全	岡田	廣小路
蕎麥	連雀丁	藪そば	全	馬道	平安	吾妻橋
全	外神田	藪すな	温泉兼▲千束町	田輝樓	並木	平新
●浅草區			料理	公園	一直亭	廣小路
會席	●山谷	八百善	全	辨天山	花井	公園
料理	吉原京丁	金子	西洋料理	茅丁	萬里軒	雷神門
全	▲土手	平松	全	全	吉原京丁	濱田
全	●代地	川長	全	吉原角丁	三橋亭	大門
全	●平右衛門丁	柳光亭	衛生料理	公園	伊勢源	蒲燒
温泉兼▲福井町	福清	西洋料理	全	快々亭	全	並木丁

全	吾妻橋	伊豆熊	全	三好丁	魚新	全	馬道第十四いろは
全	田原丁	奴	牛肉	浅草田甫	平野	全	吉原第九いろは
全	公園	鮎忠	全	墨細丁	富士山	茶漬	須賀丁
全	山谷	重箱	全	瓦丁	今松	全	並木丁
全	▲揚屋丁	大常	全	茅丁	米屋	全	並木丁
全	江戸二	濱五	全	鳥越	可養軒	全	公園
鳥、牛肉			全	並木	いろは	全	千束丁
鳥料理●千束丁			全	全	梅枝軒	全	朝の雪
鳥	馬道	大金	全	全	快養軒	蕎麥	須賀町
全	全	金田	全	全	今松	全	公園
全	千束丁	木公亭	全	千束町	岡野	全	全
全	吉原	柳家	全	全	米久	全	しるこ
							茅町
							つるや

全	丸山	守山	全	本郷一	平野	料理	築士	喜鶴亭
全	本郷三丁目	伊世利	全	全四	十二いろは	全	神樂坂	紀の善
全	全四丁目	大和田	全	本郷一	大黒館	全	簗崎町	吉熊
全	湯島六丁目	魚安	全	栗餅	本郷二	澤屋	全	寺町
全	湯島切通	美近江	全	茗茶	●團子坂	やぶ	全	神樂坂
軍鶏	本郷二	今用	●小石川區	料理	餌差町	村田屋	全	西洋料理通寺町
全	坂町	鳥又	全	蒲燒	神樂坂	島金	全	神樂坂
全	全五	鳥定	全	竹早町	いろは	全	肴町	よし川
牛肉兼	切通	智恵勝	全	小日向水道町	東川	全	通寺町	はし本
牛肉	天神町二	豊國屋	●牛込區	蒲燒軍鶏全所	鳥文	全	東五軒町	わかな
全	湯島六	同支店						
全	龍岡丁	全支店						

全	水道町	橋本	全	三番丁	みやこ	料理	傳馬丁一	武源
燒鳥	神樂丁三	芦の家	全	蒲燒	全	和泉兼▲荒木丁	全	風來館
牛肉	全一	松本	全	麴町四	丹波屋	全	▲全	磯部亭
全	肴町	都樓	全	西洋料理一番丁	東陽軒	料理	麴町二	中松亭
全	全	鈴木支店	全	軍鶏	飯田丁	今松	全	遠州屋
天麩羅	寺町	梅月	全	牛肉	隼丁	十三いろは	全	和洋料理全
蕎麥	水道丁	飯支店	全	蕎麥	一番丁	更科	全	天麩羅 忍町
全	神樂三	春日巷	全	牡丹餅	元園丁	かてつ	全	牛肉 尾張丁
●麴町區			●四谷區				全	牛肉 尾張丁
料理	富士見丁	魚久	全	傳馬丁二	河内屋	全	牛、軍鶏	麴十二
全	三番丁	萬龜	全	麴丁十二	わか松	全	全	傳馬一
全	飯田丁	萬源	全	船兼	麴丁十二	わか松	全	傳馬丁二
							全	川 榮

より北へ三丁半、本丁通りより浅草橋を経て浅草雷神門仲見世●其他人形町通●大門通、葦屋町堺町●下谷池の端仲町●湯島切通し坂より春木町を経て本郷大通●神田小川町より神保町一ツ橋通●万世橋より淡路町、雉子町、柳原通り、馬喰町小傳馬町、本石町●兩國藥研堀より濱町富澤町、長谷川町瀬戸物町邊●本所

では元町通りより二ツ目邊●深川では高橋通●牛込では神樂坂より市ヶ谷通●四ツ谷では傳馬町通●麹町での麹町の大通、(半藏御門前通りより十丁目迄)●赤坂では一ツ木通●芝區では日影町通りより神明前をかけて三田通りなり●麻布區では飯倉通り等何れも買物の場所あり右に掲ぐる處にてハ百事意の如くにして整へ

るものなし
●仕入向問屋場所
呉服太物、織物、唐物類の仕入、長谷川町、田所町堀留町、油町裏手通り橋町邊
和洋小間物、化粧品類、煙管、袋物等の仕入は橋町裏通り、堀町、横山町馬喰町溝板新道邊なり
書籍學校教科書及稗子小説雜書類の仕入、新橋竹川

町より銀座通り京橋南傳馬町日本橋通、本町、石町、大傳馬町、鹽町、横山町通、浅草東錦給類仕入、銀座通、日本橋通、馬喰町通今川橋通、人形町通、兩國廣小路、浅草瓦町、下谷、池の端仲町等あり
團扇の仕入は堀江町、四日市を以て可とす
上記す處の場所は問屋御小賣等を爲すと雖も書籍

錦繪の他は小賣をなさず
●旅亭案内
仕入向き又は觀物に便利なる旅亭ハ馬喰町、小傳馬町長谷川町、本銀町、日本橋近傍京橋、新橋の邊を云ふ、其内仕入向きには馬喰町の旅亭を以て尤も可と爲す是れ其問屋向の近傍にある所以なり亦た宿泊するに仕入向と觀物との二種あれば、仕入向きに商人宿に

非れば好都合あるを得ず故に印を附す●印のある總て商人仕入方に便利なる旅亭と心得べし
日本橋區馬喰町三丁目
●梅屋 治兵衛
●會津屋 利兵衛
●福島屋 仙太郎
●中屋 本吉
●美濃屋 五郎兵衛
●大和屋 長左衛門
●松坂屋 万吉

●伊勢屋 久三郎	●羽前屋 半兵衛	●大和屋 佐兵衛
●三鷹屋 角兵衛	●升屋 重兵衛	●相摸屋 喜兵衛
●朝萬屋 宗二郎	山城屋 彌市	橋本町三丁目 <small>附木店</small>
●大坂屋 喜助	●立花屋 のぶ	下總屋 佐多
●森田屋 茂助	●龜屋 はる	小傳馬町三丁目
神田區久左衛門町	馬喰町一丁目	●下總屋 ぶ
●いせや 清吉	●苜豆屋 茂左衛門	●小松 甚八
●信濃屋 米藏	●全支店 由兵衛	●河内屋 新藏
●津久井屋 生吉	●京屋 彌助	●森田 彦兵衛
●馬喰町二丁目	●伏見屋 正左衛門	●坂岡 多都馬
●健屋 四郎兵衛	●中田屋 八右衛門	全二丁目
	●上州屋 宗三	●山田屋 又兵衛

本銀町一丁目	近江屋	石田 作太郎
船橋屋	宮澤町新道	室町三丁目
全三丁目	●玉屋 久次郎	濱田 平兵衛
●樋口屋 原田金藏	田所町	小綱町
全四丁目	●木屋 傳次郎	小野屋
越後屋 省次郎	●米屋 勘次郎	竹内 源吉
桑島屋 勇七	高砂町	新菱町
本石町二丁目	山口 松之助	上總屋 和助
伏見屋 重兵衛	堀江町三丁目	小綱町一丁目
大傳馬越町	桑名屋	大松屋 宇右衛門
上州屋	本町二丁目	竹内 藤吉
大傳馬町		上總屋 佐十

信濃屋	わか	水谷	ひさ	杉浦	全
全二丁目	檜物町	伊勢屋	安兵衛	對城館	西紺屋町
喜村	石	兩替町	富田	東雲亭	全
小舟町三丁目	奥州屋	富田	鐵平	自由館	彌左衛門町
村田屋	芳五郎	新設町	伊藤	對鶴館	元數寄屋町
西河岸町	島屋	本石町四丁目	久保田屋	丹波屋	全
島屋	平七	●京橋區	●江間	美耶巨館	山下町
●山本	市郎右衛門	西本信長	銀坐一丁目	對出館	全
數寄屋町	●山本	●芝區	●麻屋	林屋佐治衛	尾張町
●山本	市郎右衛門	●芝區	●芝區	總房館	全三丁目
島屋	市郎右衛門	●芝區	●芝區	福芳	南鍋町
島屋	市郎右衛門	●芝區	●芝區	成瀨	元數寄二

伊勢屋	南鍋町	佐々木松五郎	北嶺町	仁見忠右衛門	全
常盤館	三十間堀三	伊東屋	南傳馬町一	●越中屋	全
桃李館	加賀町	林與七	京橋疊町	●信濃屋	芝口三丁目
紅木屋	宗十郎町	茂林館	南鍛冶町	●紀伊國屋	全
松木	出雲町	●芝區	●芝區	●近江屋	源助町
萬屋	木挽町三	●麻屋	芝口一丁目	●山城屋	露月町
山城軒	山城町	●鶴屋	全	●福島屋	兼房町
春木屋	新宮町	●川崎屋	全	●相摸屋	櫻田本郷町
松本善五郎	出雲町	●桑星館	全	●金虎館	兼房町
川崎屋	全	蓬萊屋	全	織茂利一郎	本郷町
西本	銀坐一丁目	●和田屋	全	●有信館	全
明ばの	五郎兵衛町	●田中屋	全二丁目	●神田區	

●伊勢傳	小柳町	●石井與右衛門	全	尾野川	連雀町	大塚陽	全	武藏屋	全	栗原波五郎	全	万代屋	全	矢澤さい	全	大泉	全	●むかせや	全	旭樓	表神保町	高梨ささ	佐柄木町
●下谷區	小川町	●下谷區	大野屋善兵衛	井田伊三郎	南甲賀町	屋代	全	關根 繁	金澤町	万屋佐兵衛	山本町	堀切半右衛門	元久右門町	岡井金次郎	橋本町一	高木嘉右衛門	白壁町	須田利吉	西福田町	小崎福吉	佐久間町		
山下館	上野山下	大米屋	車坂町	下總屋	上車坂町	名倉屋	車坂町	泉屋	全	高野	全	金子半次郎	全	山城屋	下谷町二丁目	井筒屋	全	小松屋	全	埼玉屋	上野三橋	横倉馬三郎	全

●本郷區	仲徒町	●本郷區	廣小路	山城屋	東黒門町	伊勢屋	全	岩田屋	全	山口正篤	龍岡町	川田莊太	湯島四丁目	●牛込區	揚場町	長島屋	全	●四谷區	麹町十二丁目	●埼玉區	傳馬町一丁目		
●柏屋丈助	麹町十二	●浅草區	細田徳右衛門	●麹町區	籠筒町	城西館	麹町三丁目	丁子屋	茅町一丁目	若松屋	全	伊勢屋	藏前片町	東屋	南元町	小松屋	駒形町	松坂屋	材木町	笛屋	全		
下田安右衛門	全	●深川區	柳屋	富士屋	東仲町	河内屋	全	鹿島屋	花川戸	長谷川藤吉	猿江町	加藤三次郎	全	●本所區	元町	若松屋	全	大橋屋	緑町四丁目	豆田屋	三笠町		

此外下宿屋所々に散在すれども之を略す亦た學術技藝習練の爲め學生を以て出京して止宿なさんとするにハ駿河臺本郷弓町眞砂町湯島天神町神田神保町錦町を以て一ヶ月賄一ト間借切にて上等金五圓中等金四圓位にて止宿なさんしむる家多し

●相撲取組場所

しことは普く人の知る處あり此興行によりて年に兩度番附面の改正あり、よりて其煩ハしさを厭ふを以て茲に番附面、を掲す是れは府下何れの新聞紙にも興行取組中ハ掲げてあれば之を略す亦た興行場所は回向院の他、深川八幡境内、平河天神坂内等諸所にて興行す、之れを花相撲と稱へて出世相撲にてはあし、亦た天覽

角力は、九段靖國神社祭禮の折にあり、其他芝公園、彌生館などにも催ふすことあり、觀物の節は是又相撲場所茶屋に就きて案内を請ふべし

●温泉場案内

- サラドカ湯 濱町大橋際
- 元祖草津温泉 駒込
- 同分店 京橋區桶町
- 熱海温泉 通三東横町
- ヨシム温泉 木挽町一

- 泰西樂湯 神田麩子町
- ヨシム 全 猿樂町
- ヨシム 下谷七軒町
- 草津温泉 全所
- ヨシム 淺草福井町
- ヨシム 森田町

- ミニール湯 東兩國
- カル、ス温泉 本所中ノ郷
- 福住温泉 芝公園側山
- 和倉湯 馬喰町三丁目
- 海水浴 芝浦
- 温泉の効驗あるハ吾彼と共

に信する處あり、今や衛生を重するに當りて身体の健康を慮らざる可ならず、諸人入浴して各温泉の効驗を知るべきなり

●諸藝人藝姓名	市川 左團次	坂東 家橘	市川 喜美藏	中村 傳五郎
●五大劇場出藝	市川 九藏	市川 小國次	市川 八百藏	市川 升若
の俳優	市川 權十郎	澤村 源之助	岡市 藏坂	東 彦十郎
俳優首長	中村 芝翫	尾上 菊之助	坂東 秀彌	市川 猿之助
市川 國十郎	中村 福助	中村 壽三郎	岩井 松之助	井 小紫
尾上 菊五郎	尾上 松助	中村 米藏	市川 荒次郎	坂東 喜知六

松林	左圓	落語家長	三遊亭	圓右全	金朝春風亭	年枝
伊東	潮魚	三遊亭	圓朝	三笑亭	可樂全	圓左柳亭
眞龍齋	鏡水	三遊亭	芝樂全	同	花遊	柳家
田邊	大龍	春錦亭	三遊亭	同	子遊	同
田邊	千山	五明樓	三遊亭	同	桃生	桂
松林	知山	桂	三遊亭	立花家	圓太郎	同
神田	伯鶴	三遊亭	文治	同	小圓太	昔家
桃川	燕玉	禽語樓	柳家	柳亭	燕路	七笑亭
神田	豊山	春風亭	三遊亭	松柳亭	鶴枝	立川
以下省く		麗々亭	三遊亭	春風亭	柏枝	都家
落語家		古今亭	全	新朝	柳亭	林家
		今輔	全	萬橋	右	春風亭
					柳	傳枝

春風亭	梅枝	岸の家	妻八	歸天齋	正九	英國人	ブラツク	義太夫
昔々亭	桃太郎	都々一	歌女吉	兩川亭	船遊	各國奇術		竹本
●音曲部		●手術	幻燈	春風	一柳	松旭齋	天一	竹本
徳永里朝	シヤグラ一	●人形				●各國奇術幻燈		竹本
富士松	紫朝	中村	一登久	吉田	國五郎	●浪花節		竹本
岸澤	吾妻太夫	養老	灘五郎	西川	伊三郎	●混花節		竹本
菊菱	和佐太夫	アシヤ	フロ一	西川	小伊三	美弘舍	東一	竹本
四代目	扇歌	春天齋	柳一	宮永	幸太郎	浪花亭	駒吉	竹本
富士松	ぎん朝	春風	蝶柳齋	西川	組の助	春日井	文の助	竹本
立花家	桶之助	松井	源水	西川	小組	中川	松の助	竹本
寶集家	金の助	仙太郎		とばや	繁蝶	吉川	辰丸	竹本
つるが	若辰	春風	蝶の助	●西洋人情咄		吉川	小辰丸	竹本
								竹本
								津賀太夫
								生駒太夫
								氏太夫
								織太夫
								朝太夫
								組太夫
								租太夫
								綾瀬太夫
								播磨太夫
								傳枝

竹本 住江太夫	鶴澤 燕平	鶴澤 宗吉	竹本 小傳	鶴澤 梅玉
竹本 燕太夫	鶴澤 紋左衛門	鶴澤 市作	竹本 稻栴	竹本 駒玉
竹本 大和太夫	野澤 語助	鶴澤 安太郎	竹本 小住	竹本 津賀代
竹本 春子太夫	鶴澤 燕三	●女義太夫	竹本 住之助	鶴澤 鶴司
竹本 柳子太夫	竹澤 龍造	竹本 清花	竹本 熊梅	鶴澤 民造
竹本 手遊太夫	鶴澤 清糸	竹本 圓玉	竹本 氏綱	豊竹 素行
竹本 橋太夫	鶴澤 清六	竹本 小清	竹本 網清	竹本 熊吉
竹本 喜笑軒	野澤 吉三郎	竹本 東玉	竹本 大吉	竹本 駒の助
豊竹 岡登齋	野澤 一平	竹本 越子	竹本 東代玉	竹本 網巴津
●三味線	豊澤 松太郎	竹本 小政	竹本 福玉	●遊廓の所在
鶴澤 文藏	野澤 冠二	竹本 花友	竹本 三福	新吉原 淺草區
豊澤 豊藏	鶴澤 瀧作	竹本 綾の助	竹本 花睦	

洲崎 深川區	烏森町	下谷 數寄屋町	閑靜にして且つ	玉屋 四日市
新宿 四谷區	二葉町	湯島天神	美麗なり此家を	喜樂よし丁
品川 荏原郡	芝神明社内	境内、天	借て静かに快樂	福本 茅場町
千住 南足立	濱松町邊	神町邊	を盡さんとする	船の尾 本町角
板橋 北豊島	日本橋 拾物町	此外山谷堀、須	者の往處なり	菊岡 小舟町
●藝妓所在地	上楨町	崎町、牛込神樂	●日本橋區	田口 同
柳橋 元柳町	霞町 住吉町	坂、本郷其他諸	●日本橋區	愛森亭 蛸壳町
新橋今春	元大坂町	所に散在す	●日本橋區	川吉 同
	赤坂 溜池	●待合茶屋	壽 通三丁目	島瀧 同
日吉町	福吉町	待合とは遊客を	常盤亭 同四	江澤 濱町
竹川町	田町邊	迎ふる處にして	寒菊 上楨丁	河合 藥研堀
出雲町	外神田	貸席なり何れも	布袋屋 大工丁	森本 米澤町
芝烏森 日影町	講武所			

遊廓所在地

藝妓所在地

待合茶屋

若松 同	みどりや 同	濱の家 日影一	大和屋 同	大和屋 元町
岡田 小綱丁	小山 日吉丁	ことぶき 同	千と勢 同	●神田區
藤岡 岩附丁	梅屋 宗十郎丁	中川 新橋	岡田 同	甲子屋 外神田
花の屋長谷川丁	開化亭 新肴丁	新橋樓 同	いがらし 同	吉川 同
望月 横山丁	高砂 同	菊村 烏森町	すいきや 同	明石屋佐久間町
宮崎 草屋丁	藤岡 木挽町	金本 金杉	福田屋 同	刺代志 鍋町
小林 同	山崎 同	鼠屋 赤羽根	相摸屋 同	富久井 鍛冶町
小倉屋 浪花丁	山田屋 同	袖ヶ浦 高輪	青柳 同	松野 臺處町
山本 柳橋	山本 同	●下谷區	富岡 同	●淺野區
●京橋區	秋元 同	林屋 池端仲町	伊勢万 同	稻垣 代地河岸
大村 三十間堀	常盤 新富町	無極庵 池の端	五十嵐 同	名倉 同
山口 南金六丁	●芝區	布袋屋 同	●本郷區	みどり 下平右衛門町

小松 同	藤岡 同	まつ葉 廣小路	喜谷 田町	誰ヶ袖 築土前
須賀野 同	小泉 新福井町	●赤坂區	●牛込區	
●隅田丸大川間往復賃 錢表	りて乗客尤も多し	●諸方乗合馬車發車時 間并に賃金表	を經て成田に到る	東京府中往復馬車會社
永代橋より吾妻橋間乗客一 人に付金二錢五厘、永代橋 より大橋まで一錢、大橋よ り兩國橋まで一錢、兩國よ り吾妻橋まで一錢、但し永 代橋より大橋を經て兩國橋 迄の間一錢五厘	東京より市川、舟橋を經て 千葉に到る	東京成田往復馬車會社	四谷より高井戸、布田驛を 經て府中に至る	諸方、往復馬車賃金は何れ も一里三錢の割合あり
右定時に發船す、當時に至	東京より市川、舟橋、佐倉	定時發車兩國廣小路	品物配達は隨分重寶あるも のあり、飯合は途中に於て	●品物配達案内

待合茶屋 川蒸氣賃錢表 諸乗合馬車賃錢表

買物を爲し、夫より他へ廻らんとするときは最寄品物配達所へ差出せば其日の中に届くなり、本局は南傳馬町一丁目あれども取次所各所にあり、左に賃錢表を掲ぐ

隣區配達賃錢

日本橋區、京橋區、糀町區、神田區、淺州區、本所區、深川區、以上を隣區と爲す
量目百目迄一錢●四百目迄

一錢五厘●七百目迄二錢五厘●一貫目迄三錢●三貫目迄四錢

隣區外一般賃錢

日本橋區より芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷の各區
量目百目迄二錢●四百目迄三錢●七百目迄四錢●一貫目迄五錢●三貫目迄六錢

區外遠方の分

北品川、澁谷、内藤新宿、高

田、下板橋、王子、千住、洲崎、龜井戸、
量目百目迄三錢●四百目迄四錢●七百目迄五錢●一貫目迄七錢

此外提灯、傘、下駄の類何品によらず配達す、傘、下駄の類は一品に付一錢隣區外は二錢にして即日配達するの便あり

●雇人請宿案内

地方より出京して商店亦た

は會社、職工、工場等に入りて修行せんと欲する者の左の請宿に就きて依頼すべし

日本橋新葺町

千束屋●松坂屋●東屋●大坂屋●よしや●大黒屋其他
同町にある雇人請宿に至るべし、決して何々周旋社おと看板を掲げある處へ往くべからず、何々周旋社おと稱する社名を冒せし處は多くは奸策手段を以て六暗に

周旋金を食ればなり之大に注意すべき事あり

●東京有名寫真師

淺草公園 江崎 禮二
同 松林 堂
糀町九段坂下 鈴木 眞一
飯田町四丁目 小川 一眞
銀坐三丁目 二見 朝熊
全竹川町 北庭 筑波
芝新橋際 丸木 利陽
新橋日吉町 田中美代二
此外諸所に散在する寫真師

指を屈するに復なしと雖ども府下に於て尤も有名なるは茲に掲げるの家なり

●郵舟會社荷物取扱處

日本橋伊勢丁 山中屋
同新材木丁 三倉屋
同十六番地 住吉屋
同十五番地 紀伊國屋
同十六番地 岡田屋
小傳馬町三丁目 萬年屋
堀江町二丁目 淺井 久藏
同四丁目 平田 與八

本草屋町 龜屋鐵五郎 鐵炮丁廿四 小杉利一郎 南金六町 西澤 半助
 小網町一 早川達三郎 銀座一丁目 三上熊三郎 尾張町一 林屋左治衛

●官私立諸學校及び其教科書目

入校者又は人々に見易きを圖り伊呂波分けを以てし、而して其科目を示す、左の如し

- 郁文館 本郷區駒込蓬萊町 高等中學校及び官立受験の豫備として普通學科を教授す
- 方圓舎 麴町區一番町五番地 數學專門の學舎なり
- 日本英學館 神田區仲猿樂町 英學專門の學校あり
- 二松學舎 麴町區一番町 三島中洲翁の學舎にて、漢學專門の學舎あり
- 日本外國語學校 麴町區平河町 外國の語學を教授す
- 日本速記學院 木挽町二丁目 速記學速成の學院あり

- 豐國學校 京橋區木挽町七丁目 簿記學及び數學を教授す
- 簿記學專修館 神田區南神保町 簿記學專門の學舎なり
- 補充中學校 麴町區飯田町五丁目 普通教育の學校なり
- 東京職業學校 淺草區藏前片町 文部省所轄にして工藝工業等の實學を教授する處なり
- 東京高等女學校 神田區一ツ橋通町
- 東京美術學校 下谷區元四軒寺跡
- 全 音樂學校 全
- 全 農林學校 上目黒村字駒場
- 全 電信學校 芝公園第五號
- 全 法學院 神田錦町二丁目 法學專門の學校あり
- 全 英語學校 全 英語及び商業學等なり、又夜學を爲す

- 全 文學校
- 全 裁縫學校 湯嶋切通町 裁縫組物及び英語其他料理方をも教授す
- 獨逸協會學校 神田區西小川町 獨逸學を教授す
- 東京專門學校 牛込區早稻田 法律、政事、行政、文學等に關する事を教授す
- 同 唱歌專門學校 牛込追分町 唱歌專門の學校あり
- 同 藥學校 神田區岩本町 藥學及び化學を教授す
- 同 英和學校 青山南町高等普通の學科なり
- 同 尋常中學校 京橋區築地三丁目 東京府の所轄にして理、化、博物、地理、倫理、國學、漢文歴史、農業、圖書、外國語、習字等を教授す
- 同 英和女學校 麻布東鳥居坂町 和英學にして普通科、豫科あり
- 同人社 小石川江戸川町 英學及び普通漢學をも教授す
- 同 物理學校 神田區小川町 理化學及び數學をも教授す

- 同 體操專修所 駒込追分町 體操學及び練兵式生理學等を教ゆ
- 同 醫學院 神田同朋町廿番地
- 同 體操學館 糺町平河丁五丁目
- 同 學館 駿河台北甲賀町 和漢英學及び簿記數學等を教ゆ
- 獨逸專修學校 神田淡路町一丁目
- 東京簿記修館 同區美土代町三丁目
- 同 速成筆記學校 駿河台東紅梅丁 速記學專門の學校あり
- 同 簿記學專修學校 下谷區練塀丁四十四番地
- 同 數理學校 神田區猿樂町二丁目
- 同 商業學校 日本橋區堀船丁一丁目 商業及び地理經濟簿記學等を教授す
- 東京府高等女學校 京橋區築地小田原丁四丁目 東京府の所轄にして高等學術を教授す

- 東京府レーヌ教場 京橋區日吉町 レース編物一切を教授す
- 東京郵便電信學校 芝公園内 遞信省附屬にして郵便電信に關する一切の技術を教授す
- 東洋女學 芝區南佐久間町 女子に限り學術技藝を教授する處あり
- 東京府尋常師範學校 小石川竹早町 公立小學校の教員と爲る生徒を養成する學校あり
- 東京全修學校 小石川富坂町 獨逸學英學を教授する處あり
- 徳育館 本郷區元町 普通學を教授す
- 東日館 下谷御徒町 法律學を教授す
- 陸軍々吏學校 糺町區 富士見町
- 同 軍醫學校 同
- 同 士官學校 市ヶ谷本村町 陸軍省の附屬にして士官を養成す

- 同 幼年學校 同所
- 同 戸山學校 牛込區戸塚町 陸軍省の附屬にして將校等の軍事を講究する學校なり
- 立志義塾 神田區錦町三丁目
- 音樂學校 上野公園内 文部省の所轄にして音樂専門の學校あり
- 和佛法律學校 神田小川町一番地 法律及び經濟學を教授す
- 高等女學校 一ツ橋通 女子高等科に關する學科を教授す
- 高等商業學校 同所 文部省の附屬にして高等商業に關する簿記經濟等の事を教授す
- 高等師範學校 本郷區湯島三丁目 高等教育家を養成する學校あり
- 學習院 赤坂葵町 俗に華族學校と稱す宮内省の附屬にして華族子弟に限り入校せしめ海陸軍に入るの兵學の豫備校なり

- 海軍大學校 京橋區 築地四丁目
- 全 主計學校 芝區愛宕下町
- 學農社 麻布本村町 農事改良進歩を圖る實業家を養成す
- 海軍正義學校 麴町區平河町四丁目 本校ハ海軍出身の志願生を養成する學校なり
- 全兵醫學校豫備校 愛宕下町三丁目 海軍兵學及び醫學校に入るの豫備校なり
- 全 豫備干城學校 芝愛宕町一丁目
- 神田英學校 神田和泉町
- 海岸女學校 築地明石町 聖書及び和洋學并に唱歌等を教ゆ
- 高等普通學校 麻布弁町 高等及び普通科又本科豫科、初科等あり
- 香蘭女學校 全長坂町一番地
- 開成學校 神田猿樂町
- 開元學舎 本郷新花町

- 甲津學舎 日本橋區小網町 英、數、漢、簿記及び習字等を教ゆ
- 私立開成女學校 麴町區上六番町十七番地 和漢、英、佛、獨語、數學及び音樂、裁縫、編物、茶湯等を教授す
- 海軍醫學校 芝公園第一號 海軍省附屬にして軍醫を養成する學校なり入學受験ハ身体の檢査及び隨書作文數學英學等なり
- 大東英和學校 芝區南佐久間町二丁目
- 達英舎 本郷區田町廿三番地
- 大日本水産學校 芝公園内第九號
- 第一高等中學校 本郷區彌生町 此學校は帝國大學校の豫備なり
- 通義女校 芝公園内五十八號
- 農林學校豫備校 四谷信濃町 英、漢、數、理化、地理學等を教授す
- 華族女學校 永田町二丁目 宮内省の附屬にして華族の少女を教育する校あり

- 會文學校 日本橋吳服町 商業英語學を教授す
- 皇典講究所 麴町區飯田町五丁目 神道國學の奧儀を講究する所あり
- 慶應義塾 芝區三田貳丁目 福澤諭吉先生の學舎にして英漢翻譯等の教授あり
- 敬文社講學部 本所區相生町 試験志願の者に必用の科目を講ず
- 研修學校 淺草區西鳥越町 英漢數學を教授す
- 文官受驗豫修學舎 神田區今川小路 法律經濟英語數學地理、理化學等を教授す
- 文官義塾 芝三田四丁目
- 福音會英語夜學校 京橋區竹川町十九番地 正則英語學を教授す
- 工手學校 築地南小田原町 工藝手術を教ゆる處あり
- 攻玉社 芝新錢座町 普通專修科及び土木測量、商船、數學等にして官立學校に入るの豫備校あり
- 國民英學舎 神田錦町一丁目 外國語を教授す

- 江東義塾 本所松坂町 英漢學等を教授する學舎あり
- 麴町區産婆學校 麴町八丁目 産婆學を教授して免狀を授く
- 興風女學校 駿河台袋町
- 國語傳習所
- 頤昇義塾 御徒町 英漢數學簿記等を教授す
- 英華學舎 神田小川町七十一番地 漢英數學を教授す
- 幼稚園 小兒六歳以下を教育する學園なり
- 帝國大學校 本郷富士見町 文部省の直轄にして大學院及び分科大學校あり分科は工學、醫學、文學、法學、理學の五大校なり
- 哲學館 本郷龍岡町 哲學専門の學校なり
- 跡見女學校 小石川柳町 番學及び和漢英數學裁縫編物等を教ゆ
- 私立安生堂産婆學校 京橋區鈴木町十二番地 産婆學實地演習を教授す

- 濟生學舎 湯島四丁目
- 櫻井女學校 麴町區中六番町 高等普通の學を教授す
- 齋卿英語學會 日本橋區小網町三丁目 英語學簿記を教授す
- 錦城學校 神田錦町三丁目 和漢英語を教授す
- 曉星學校 麴町區元園町
- 共立學校 神田淡路町二丁目 和漢數英學等にして高等中學校受験の豫備校あり
- 共立女子職業學校 神田一ツ橋通女子教育に必用の學を教ゆ
- 共愛學舎 下谷練屏町 英漢數學簿記を教ゆ
- 明治法律學校 神田區駿河臺南甲賀町 法律及び政治學を教ゆ
- 明治女學校 飯田町三丁目 女子高等普通の學を教授す
- 明治學院 芝白金町 神學及び英學を教授す
- 明治英學校 麴町區富士見町五丁目

- 三田英學校 芝愛宕下町 高等普通の兩科あり
- 商船學校 靈岸島銀町二丁目
- 順天堂合社 神田區仲猿樂町 數學測量天文學等を教ゆ
- 齒科醫學院 芝區伊皿子町 理化解剖生理藥物齒科治療法及び器械學等を教授す
- 進徳館 神田小川町 漢學英學を教授す
- 女子英佛學校 同區仲猿樂町六番地 英佛學及び裁縫圖畫音樂其他女子教育に關する事を教ゆ
- 壬申義塾 本郷森川町 獨逸學専門の學舎あり
- 成城學校 市ヶ谷加賀町 陸軍士官學校及幼年學校に入豫備校也
- 成立學舎 神田區袋町 普通學の餘科あり
- 成美塾 一ツ橋通り 佛語及び羅匈語
- 正則豫備校 芝公園内

●整理學校 神田中猿樂町 大學の豫備校なり

●數學專修館 麴町區飯田町六丁目

●水産傳習所 日本橋箱崎町 水産に従事する實業家を養成す

●數學專門敬勝館 神田錦町一丁目 數學專門の學舎なり

●數理學館 神田裏猿樂町 全

●府下雷名書畫文人一覽

(書) 巖谷一六 麴町平河町

(書) 市河万庵 下谷練堀町十四番

(書) 全 遂庵 全金杉町卅九番地

(書) 全 得庵 全

(書) 伊藤桂洲 日本橋藥研堀町

(画) 飯島光峨 全濱町一丁目三番

(畫) 岩村礪水 神田北神保町

(詩) 市河湫村 牛込横寺町八番地

(畫) 猪瀬東寧 下谷仲徒町二丁目

(詩文) 石川鴻齋 芝區仲門前町

(書) 生田水竹 小石川水道町

(詩文) 稻村城山 芝伏見町

(書) 岩城玉山 全櫻田本郷町十四

(書) 石田霞舟 本郷區春木町

(書) 井深清齋 日本橋區蛸壳町二

(詩書) 馬場逸齋 芝櫻田本郷町

(書) 原田鼎洲 麴町平河町廿三番

(畫) 畑中西峨 四谷坂町

(書) 原田竹外 淺州榮久町廿一番

(詩文) 原田由己 神田小川町一番地

(書) 服部隨庵 淺州福富町六番地

(書) 春木南溪 日本橋區矢の倉町

(畫) 早瀬寛仙 芝區森本町三丁目

(篆刻) 濱村藏六 向島須崎町四十九

(書) 早川春波 神田仲猿樂町

(書) 服部巖村 金杉町二百六十七

(畫) 英一晴 淺州新平右門町

(畫) 服部波山 金杉町二百六十七

(書) 西川春洞 寺島町千二百七番

(書) 新聞旭宇 金杉町二百七十五

(詩文) 西野松軒 淺草東三筋町

(書) 西川崎洲 下谷徒町三丁目

(畫) 西田春耕 淺草三筋町

(書畫) 堀越國洲 築地二丁目

(書) 保科致堂 神田北神保町

(同) 堀田佛庵 本郷駒込追分町

(畫) 堀田瑞松 京橋區山城町八番

(畫) 細谷雪山	全南鞘町	(畫) 小原米華	神田駿河台袋町
(書) 藤堂二洲	本所區橫網町	(書) 岡三橋	麴町元園町
(同) 富永華堂	兩國藥研堀町	(畫) 岡部淡齋	芝愛宕町一丁目
(畫) 藤堂凌雪	淺草東三筋町	(詩) 大沼枕山	下谷仲徒町三丁目
(書) 長三洲	市ヶ谷舟河原町	(畫) 大澤南谷	日本橋區濱町一丁
(書) 千原海外	本郷弓町一丁目	(詩) 大久保一丘	本所松井町一丁目
(書) 長梅外	市ヶ谷船河原町	(詩) 小野湖山	神田五軒町
(書畫) 長古雪	牛込神樂町	(書畫) 奥原晴湖	下谷仲徒町
(書) 貫輪秋香	八丁堀總嶋町一丁	(書) 和田岳陽	同坂本町
(詩文) 岡鹿門	芝愛宕下町四ノ一	(畫) 渡邊晴嵐	同仲徒町三丁目
(書) 大沼蓮齋	麴町紀尾井町六番	(畫) 渡邊省亭	淺草西鳥越町
(詩) 岡本黃石	同平河町一ノ廿九	(詩文) 渡邊蒼々	芝南佐久間町

(詩文) 勝海舟	赤坂氷川町	(俳諧) 香楠居幹雄	日本橋彌見町二ノ四
(書) 神波邸山	神田金澤町	(詩文) 依田百川	神田小川町一番地
(同) 篁昂山	淺草北清嶋町	(書) 橫山青城	日本橋小舟町二丁
(詩文) 川田斐江	牛込若宮町	(畫) 吉次雪庵	淺草公園地
(畫) 川端玉章	深川西大工町	(書) 芳川越山	築地二丁目
(詩文) 神田淡堂	神田淡路町	(畫) 吉澤素山	牛込通寺町
(畫) 狩野永秀	淺草下平右衛門町	(詩書) 高橋泥舟	牛込山吹町八番地
(書) 片桐霞峯	日本橋區本銀町二	(書) 高林五峯	八丁堀北島町
(畫) 狩野勝玉	京橋區山城町	(畫) 瀧和亭	駿河台東紅梅町
(詩文) 龜谷省軒	神田金澤町十一番	(同) 高井對雲	下谷茅町二丁目
(書) 狩野永貞	牛込天神町八十八	(書) 高神單山	牛込新小川町十二
(同) 同探美	芝金杉四丁目廿番	(同) 高田綠雲	淺草福井町一丁目

(畫) 高林芳谷	神田佐久間町	(全) 村上豊祖	下谷區西町
(詩文) 鶴田斗南	同五軒町	(書) 牛窪掃雲	深川常盤町
(同) 堤 青齋	麴町飯田町六丁目	(画) 植竹湘江	上野元黒門町
(詩文) 南摩羽峯	全富士見町一丁目	(書) 生方桂堂	兩國矢ノ倉町
(詩書) 成瀬大城	下谷金杉町	(書) 植村蘆洲	下谷車坂町
(畫) 中島穆陰	全御徒町一丁目	(畫) 野口秋圃	日本橋吳服町三
(書) 中村悟竹	本所須崎町	(詩文) 野村素軒	本郷金助町
(書) 中根半嶺	上野元黒門町	(書) 野口幽谷	牛込喜久井町
(書) 那須千洲	牛込西五軒町	(全) 野口二洲	下谷竹町
(詩文) 向山黃村	芝區三田綱町	(書) 日下部鳴鶴	麴町平河町五丁目
(全) 牟田口櫻郵	麴町下二番町	(詩文) 栗本麴庵	本所北二葉町
(画) 村瀬玉田	京橋區新倉町	(全) 栗野昌丘	湯島天神町

(詩文) 栗山石齋	淺草阿部川町	(詩文) 福地櫻痴	築地壹丁目六番地
(書) 工藤敬齋	芝愛宕下町四丁目	(畫) 福島柳隱	淺草小島町
(全) 日下部耕雲	京橋區築地三丁目	(全) 福田永齋	本所相生町
(詩書) 山田空齋	麴町永田町二丁目	(書) 藤田吳江	下谷車坂町
(書) 山本龍洞	下谷御徒町一丁目	(書) 小永井小舟	淺草西三筋町
(詩書) 安田老山	麴町三番町	(全) 小室樵山	下谷金杉町
(書) 山岸雲石	日本橋通鹽町	(詩文) 有栖川霞堂	麴町永田町一丁目
(全) 山邊竹窓	品川南番場町	(全) 秋月種樹	淺草橋場町
(全) 柳澤半山	淺草小島町	(全) 淺田宗伯	牛込横寺町
(詩文) 松平鶴堂	下谷金杉町	(畫) 跡見花溪	小石川柳町
(全) 松本蘭晴	牛込馬場町廿三	(書) 佐瀬得三	築地二丁目
(畫) 松本楓湖	淺草永久町四十二	(詩文) 佐野雪津	麴町三年町

- | | | | |
|-----------|----------|--|----------|
| (書) 佐竹永湖 | 兩國矢ノ倉町四 | (全) 樋口竹香 | 下谷車坂町 |
| (詩文) 岸田吟香 | 銀座貳丁目 | (書) 久永公園 | 日本橋區本村木町 |
| (書) 衣笠幽谷 | 牛込上宮比町 | (詩文) 毛利寛齋 | 芝高輪南町 |
| (書) 木村二梅 | 本所線町一丁目 | (書) 森春濤 | 下谷仲徒町三丁目 |
| (詩) 喜多見楓川 | 京橋五郎兵衛町 | (詩) 關根痴堂 | 淺草須賀丁 |
| (詩文) 三嶋中州 | 糀町一番町四十五 | (書) 關雪嶺 | 下谷仲徒町四丁目 |
| (書) 水田徳哉 | 麻布一本松町 | (詩書) 杉野雨 | 糀町平河町 |
| (詩文) 重野成齋 | 駿河台袋町 | (詩) 鱧松塘 | 淺草向柳原二丁目 |
| (全) 信夫怒軒 | 本所龜澤町一丁目 | 以上に記載する所の書畫文人一覽はすべて現在を掲げたるものと雖も或ひ一を其人に訪ふを要せず故に亦た古人あきを證せず讀者若し之を知らば幸ひに | |
| (書) 柴田是真 | 淺草上平右衛門町 | | |
| (詩文) 嶋田重禮 | 小日向台町一丁目 | | |
| (詩) 新庄東岳 | 淺草五町 | | |

救へを垂れんことを望む

●官私立病院案内

醫科大學第一醫院本郷帝國大學校内醫科
 大學第二院神田知泉町壹番地
 第一院外來患者又ハ入院の手續を案内す
 内科、外科、患者にして診察を請はんと爲す者午前六時迄に該病院へ至りて申し込むべし診察時間は午前八時より始む
 一新患にして診察を請ふもの日に廿五人を限りと爲す

一入院料一日上等金壹圓下等金四十五錢にして其余はなし

東京慈惠院 芝愛宕町二丁目角
 本院は府下有名の諸大醫交々出院して貧民を救治せしむる施療慈院あり
 本郷脚氣病院 本郷區駒込退分町
 本院は府立にして脚氣専門の病院なり
 私立病院
 佐々木病院 駿河台北甲賀町
 山龍堂病院 神田小川町警察署隣
 眼科井上病院 駿河台東紅梅町
 神保醫院 神田區仲猿樂町

順天堂病院 本郷湯島五丁目
 濟生學舎 全 全 四丁目
 蘇門病院 全 所
 瘋癲病院 本郷區田町
 癲狂院 小石川區巢鴨町
 瘋癲、癲狂の二院に狂人をして入院治療せしむる處なり入院料一日上等看護人を添へ金七十五錢下等看護人もし金三十五錢
 但し看護人別に雇入るしとき一日金十五錢を拂ふべし
 衆濟病院 本郷區駒込千駄木町

此病院は癲病患者をして治療せしむる處なり
 告成堂病院 麴町區一番町
 石越病院 京橋區三十間堀一丁目
 十全堂病院 日本橋區濱町二丁目
 博濟病院 全區本銀町二丁目
 櫻井病院 全區兩國矢の倉町
 以上に記載する内外科病院一々入院料相記すべきなれどもすべて病院の入院たる一は以て慈善を旨と爲せば別して高價なるはなし大概上等金一圓より高からず下等四十五錢より安からざると

知るべし亦た病院の手厚ことは何れの病院にて大同小異にして敢て變ることなし

佐々木院 院長 佐々木東洋
 山龍堂病院 全 ● 榎村清徳
 齒科醫學院 全 高山紀齋
 眼科井上病院 全 井上建也
 順天堂病院 全 ● 佐藤進
 濟生學舎 全 長谷川泰
 告成堂病院 全 岩佐純
 博濟病院 全 淺田宗伯
 櫻井病院 全 櫻井郁次郎

●東京有名の醫士案内
 高木兼寛 京橋西紺屋町十番地
 橋本綱常 麴町平河町六丁目
 緒方正規 本郷駒込東片町
 池西謙齋 駿河臺北甲賀町
 三宅秀 本所相生町五丁目
 大澤謙二 湯島天神町一丁目
 佐々木政吉 駿河臺北甲賀町
 小金井良精 駒込東片町百十番地
 田口和美 本郷弓町二丁目
 林 茂雄 京橋區元數寄屋町
 淺野龍道 京橋區八官町二番地

緒方惟準	駿河臺南甲賀町
松本順	牛込馬場下町
佐藤三吉	神田猿樂町廿三番地
榑 俣	本郷區西片町
實吉安純	京橋區木挽町二丁目
下山順一郎	淺草區北清島町
淺田宗叔	淺草區茅町
青山胤通	本郷駒込西片町
三浦守治	神田末廣町廿七番地
坪井次郎	本郷眞砂町十三番地
片山芳林	兩國藥研堀五十三番地
猿渡常安	神田區三河町一丁目

栗原昌庵	全銀治町
印東玄徳	京橋區弓町
山管春碩	日本橋區馬喰町二
山川幸喜	京橋區元數寄屋町
葛目猪太郎	全 區竹川町
足立寛	本郷區眞砂町十二番
落合泰藏	青山北町四丁目
石坂惟寛	麴町富士見町二丁目
河村豊洲	芝區西久保城山町
戸塚文海	京橋區本林木町
石黒宇宙治	芝區田村町六番地
岡文藏	麻布飯倉町三丁目

桑原莊吉	全區長阪町卅五番地
荒井作	本郷駒込千駄木町
後藤昌文	淺草旅籠町
桐淵光齋	下谷區練屏町
桐淵道齋	日本橋北橋町河岸
岡玄卿	全區本石町一丁目
田端龍興	淺草區新福井町
伊東祐賢	神田區今川小路
丹羽敬三	本郷區弓町二丁目
高橋順太郎	神田山本町廿七番地
今田 東	本郷湯島天神町一丁
安藤一郎	麴町區中六番町

山田尙潔	小石川水道町
淺田泰悦	牛込區横寺町
隈川宗悦	京橋區木挽町二丁目
吉田宗全	神田於玉ヶ池
高橋義治	全 今川小路
原田 豊	駿河臺南甲賀町
石黒忠恵	牛込揚場町十七番地
須田哲三	小石川春日町
松山棟庵	芝區三田二丁目
三浦義純	神田區末廣町
安藤正胤	日本橋區南茅場町
杉田武	麻布區永阪町

岡田乾兒 神田區東黒門町

伊東方成 麴町永田町一丁目

竹内正信 全元園町一丁目

●齒科専門醫之部

中村正修 小石川江戸川町

片山敦彦 京橋區南鍋町一丁目

小幡英之助 全所

菅沼友三郎 全所

●辯護士及び法律事務所案内

代言又辯護人たるの職は民刑、訴訟、原告者の依頼によりて自ら其人に變りて事件の出來ことを引受けるを以て職たり、故に嚴かならざるは敢て論を俟ざる所なり、然れば其者の依頼によりて、凡そ前に鑑定して其得失を知らしむるを以て辯護士たる

渡邊良齋 駿河臺南甲賀町

伊澤道盛 麻布烏居坂町一番地

倉成慎治 日本橋區伊勢町

岡村五十一郎 深川東元町一番地

以上に掲ぐる所の内、外科及び齒科醫共皆な何れも有名にして嚴かならぬはなし患者夫れ若し診察を請はんとなさば宜敷此に掲げし中より撰核して依頼すべし

る職となせり、然るに就中訴訟の可否に關せずして、六暗に金錢を貪るあり、之實に慨嘆の至りに堪ざる所なり、よりて茲に其依頼して尤も確實なる人々を掲げて、依頼者の便宜と爲す

●日本橋區

法學士 城數馬辯護士法律事務所

日本橋區小網町三丁目

辯護士 森島彌一郎法律事務所

全 南茅場町四拾五番地

全 坂本省三法律事務所

全 上楨町

全 小川三千三法律事務所

全 住吉町十一番地

全 岡野寛法律事務所

全 上楨町

全 高木益太郎法律事務所

全 本銀町四丁目九番地

法學士 岡山兼吉法律事務所

全 西河岸町

全 澁谷懋示法律事務所

全 榎物町

全	辨護士	仁杉英法律事務所	全	青物町
全		長谷川深造法律事務所	全	通油町
全		伊藤松男法律事務所	全	濱町一丁目
全		吉田珍男法律事務所	全	本石町
全		中村盛周法律事務所	全	綱壳町
全		渡邊小太郎法律事務所	全	藥研堀四十番地
全		岸小三郎法律事務所	全	駿河町
全	菊地事務所出張大場茂篤法律事務所	全	濱町二丁目登番地	
全		岩田實法律事務所	全	綱壳町一丁目四番地
全		松島宗次郎法律事務所	全	堀江町三丁目
全		後藤亮之助法律事務所	全	八丁堀龜島町
全		武山助雄法律事務所	全	大傳馬町一丁目

全		日野薫一郎法律事務所	全	浪花町廿四番地
全		平田卓示法律事務所	全	西川岸町
全		浦田治平法律事務所	全	濱町
全		岡島宗三郎法律事務所	全	吳服町
全		合川正道法律事務所	全	村松町
全		嚴上照雄法律事務所	全	金吹町
全		大矢早利法律事務所	全	本銀町
全		熊谷寛治法律事務所	全	村松町
全		久保田與四郎法律事務所	全	濱町二丁目
全		三田角藏法律事務所	全	南茅場町六十二番地

●京橋區

日本米國法律博士鳩山和夫法律事務所 京橋區山城町

同所詰全(森彦逸)(松岡十次郎)
 米國法律博士澤田俊三法律事務所 全 日吉町
 法學士 河村秀俊法律事務所 全 銀座二丁目
 法律博士 岡村輝彦法律事務所 全 南鍋町
 法學士 宮城浩藏法律事務所 全 鎗屋町
 同 詰全(井本常治)(摺入太助) 全
 法學士 鈴木充美法律事務所 全 西紺屋町廿五番地
 同所詰全(高田龜太郎)(伊藤政二郎)(岡元兼盛)(松本久壽太郎)
 法學士 星享法律事務所 全 山城町
 全 元田肇法律事務所 全 銀座一丁目
 全 岡崎正也法律事務所 全 廿三番地
 同所結全(藤岡留吉)(大岩真夫)

法學士 三崎龜之助法律事務所 京橋區灘山町
 全 生沼永保法律事務所 全 南箱町廿三番地
 全從四位 磯部四郎法律事務所 全 西紺屋町一番地
 同所詰辯護士(長谷川吉次)(郷澤友彌)
 法學士 齊藤孝治法律事務所 全
 全 森肇法律事務所 同 加賀町十四番地
 日本法學博士米國法律學士從四位菊地武夫法律事務所 全 新着町壹番地
 同所詰全(小林明三)(矢野貞吉)(新田目善次郎)
 菊地事務 榑原周次郎法律事務所 同 西紺屋町七番地
 所出張全 信岡雄四郎法律事務所 同 全町五番地
 毛利文質法律事務所 同 新着町十二番地
 松尾清次郎法律事務所 同 銀座一丁目五番地
 法學士

辯護士 山田喜之助法律事務所 京橋區元數寄屋町二丁目二番地
 同所詰全(妻戸政吉)(指田茂雄)(花井卓三)(小林政一)(濱本倉吉)
 全 鈴木豊次郎法律事務所 同 西紺屋町五番地
 全 杉山誠一郎法律事務所 同 全
 全 杉山五郎法律事務所 同 全
 全 淺碓吾法律事務所 同 南鍋町二丁目二番地
 全 平岡万次郎法律事務所 同 彌左衛門町
 全 板倉中法律事務所 同 三十間堀一丁目
 全 同所詰全(松本要藏)
 全 佐藤樵之丞法律事務所
 全 津田義治法律事務所 同 南傳馬町三丁目十六番地
 全 三宅碩夫法律事務所 同 彌左衛門町

パリストル増島六一郎法律事務所 同 日吉町
 辯護士 中島又五郎法律事務所 同 築地二丁目
 全 芹澤幸次郎法律事務所 同 彌左衛門町一丁目
 全 大岡有藏法律事務所 同 三十間堀
 全 三島龜次郎法律事務所 同 鎗屋町
 全 林和一法律事務所 同 西紺屋町
 全 北田正徳法律事務所 同 日吉町
 全 大久保端造法律事務所 同 木挽町七丁目
 全 黒岩鉄之助法律事務所 同 水谷町
 全 三坂亥吉法律事務所 同 八丁堀二丁目
 全 國枝毅法律事務所 同 彌左衛門町
 全 風間信吉法律事務所 同 南鞘町

全	辯護士	富田信英法律事務所	同	南楓町
全		田村成美法律事務所	同	銀座三丁目
全		野口本之助法律事務所	同	惣十郎町
全		西村時四郎法律事務所	同	木挽町
全		中野省吾法律事務所	同	三十間堀
全		上野靖法律事務所	同	采女町
全		高野榮次郎法律事務所	同	築地一丁目
全		秀島虎次郎法律事務所	同	南鍋町一丁目
全		板東幸平法律事務所	同	銀座四丁目
	●神田區			
全	辯護士	大井憲太郎法律事務所		神田區表神保町
全		角田眞平法律事務所	全	猿樂町

全		佐々木義三郎法律事務所	同	錦町一丁目四番地
全		神山常松法律事務所	同	東福田町一番地
全		栗政次郎法律事務所	同	淡路町一丁目三番地
全		青木八重八法律事務所	同	今川小路二丁目十四番地
全		本多潤法律事務所	同	淡路町二丁目四番地
全		南茂平法律事務所	同	小川町十三番地
全		吉川彌生三法律事務所	同	全 町一番地
全		岩本安郎法律事務所	同	
全		指田義雄法律事務所	同	
全		丸山文司法律事務所	同	猿樂町十七番地
全		高橋捨六法律事務所	同	今川小路
全		佐藤修吉法律事務所	同	淡路町一丁目

辯護士	小野寛法律事務所	同 全
全	白石剛法律事務所	同 北神保町
全	守屋此助法律事務所	同 今川小路
全	下村四郎法律事務所	同 今川小路
全	平松福三郎法律事務所	同 駿河臺南甲賀町
全	渡邊義雄法律事務所	同 美土代町三丁目十七番地
全	小笠原久吉法律事務所	同 鍛冶町
全	會田龜太郎法律事務所	同 鎌倉町
全	伊藤修法律事務所	同 美土代町
全	安藤敏之法律事務所	同 松富町十五番地
全	湊芳藏法律事務所	同 全
菊地事務所 所出張辯 護士	川上勝叔法律事務所	同 猿樂町

●下谷區

法學士	片山清太郎法律事務所	同 下谷區下車坂町
辯護士	鈴木信仁法律事務所	同 山本町
全	野出鎭三郎法律事務所	同 仲徒町一丁目
全	阪田高壽法律事務所	同 御徒町
全	高橋安爾法律事務所	同 西黒門町
全	高橋庄之助法律事務所	同 練堀町
全	秋山小太郎法律事務所	同 御徒町一丁目
全	高橋重藏法律事務所	同 二長町
●麴町區		
辯護士	澁澤信次法律事務所	麴町區飯田三丁目二番地
全	肥田健吉法律事務所	同 上六番町

辯護士 宇陀太郎法律事務所
全 橋本好正法律事務所

同 中六番町
同 飯田町五丁

●淺草區

辯護士 高梨哲四郎法律事務所

淺草區新平右衛門町

全 紫雲義一郎法律事務所

同 西島越町

此他辯護士多しと雖も省略す

●國私立銀行案内

第一國立銀行	日本橋區兜町	頭取 澁澤 榮一	資本金百五十万圓
第三國立銀行	小舟町二丁目	全 安田善二郎	全 金三十万圓
第五國立銀行	堀壳町一丁目	全 有村 國彦	全 金三十万圓
第廿國立銀行	伊勢町二番地	全 渡邊治右衛門	全 金廿五万圓
第三十三國立銀行	駿河町一番地	全	全 金未定

第四十五國立銀行	本船町	全 小林 年成	全 金十五万圓
第九十五國立銀行	本町三丁目	全 原 亮三郎	全 金二十万圓
第百國立銀行	萬町一番地	全 河崎 晋	全 金二十万圓
第百十二國立銀行	坂本町	全 田中 平八	全 金十万圓
第百三十二國立銀行	兜町三番地	全 平松長之助	全 金六万圓
日本銀行	北新堀	總裁 川田小一郎	全 金二千万圓
三井銀行	駿河町	總長 三井 高保	全 金二百万圓
東海銀行	堀江町一丁目	頭取 吉田 幸作	全 金五十万圓
安田銀行	南茅場町七番地	全 安田 善助	全
菱川銀行	小舟町二丁目	全	全
東都銀行	品川町裏川岸	全	全
川崎銀行	檜物町	全 川崎八右衛門	全 金五拾万圓

東京貯藏銀行	萬町	全	矢島 次郎	全	金五万圓
平田銀行	青物町廿三番地	全		全	
中井銀行	金吹町一番地	全	中井新右衛門	全	金拾万圓
廣部銀行	本町四丁目	全	廣部清兵衛	全	金二拾万圓
田中銀行	坂本町	全	田中 平八	全	
今村銀行	龜島町一丁目	全	今村清之助	全	金拾五万圓
岡本銀行	堀江町一丁目	全	岡本 善七	全	金貳拾万圓
壬午銀行	兜町四番地	全	肥田 昭作	全	金廿五万圓
山本銀行	堀留町二丁目廿番地	全		全	
第十五國立銀行	京橋區汐留角	頭取	池田 章政	全	金千七百八十
第三十國立銀行	越前堀二丁目	全	深川 亮藏	全	金二万六千圓
第一百十九國立銀行	神田區淡路町二丁目	全	豊川 良平	全	金四十三万圓

平松銀行	兜町三番地	全	平松甚四郎	全	金五万圓
東京割引銀行	本町四丁目九番地	全	小野金六	全	
明辰銀行	京橋區大鋸町十三番地	全	山田忠兵衛	全	
東京貯金銀行	本郷區具砂町七番地	全	谷口 清助	全	
日東銀行	下谷區御徒町三丁目	全	行岡庄兵衛	全	
東京貯錢銀行	牛込區通町	全	木曾正義	全	
麴町銀行	麴町區麴町五丁目四	全	田中武兵衛	全	金拾万圓
倉庫銀行	深川區大和町二番地	全	平野 理平	全	金拾万圓
東京商工銀行	芝區濱松町三丁目	全	山田忠兵衛	全	
芝銀行	兼房町四番地	全		全	
橫濱第二國立銀行	支店	日本橋區本草屋町			
福島第六全	支店	全	本町一丁目		

甲府第十全	全	堀留町一丁目
金澤第十二全	全	兜町四番地
大坂第十三全	全	南茅場町十二
信州豊田第十九全	全	堀江町二丁目
静岡第卅五全	全	兜町五番地
館林第四十全	全	小舟町二丁目
栃木第卅一全	全	富澤町五番地
岐阜第四十六全	全	大傳馬町一丁目
仙臺第七十七全	全	南茅場町十九
中津第七十八全	全	大傳馬町二丁目
阿州第八十九全	全	青物町
陸中第九十全	全	西川岸町

岩城第九十全	全	伊勢町八番地
箱館第百十三全	全	本船町十九番地
鹿児島第百四十七全	全	全所
八戸第百五十全	全	青物町
大阪第三十二全	京橋區	南傳馬町一丁目
水戸第六十三全	全	南新堀一丁目
西京第百一十一全	全	越町區越町六丁目

銀行中本店へ頭取の人名及び或ひは其資本金等を附して便ならしむると雖も支店の部は、本店ある地方にありて其土地の人の宜く知る處なれば敢て茲に配さず

●會社商社并營業事務(伊呂波分)

石川島造船所 京橋區石川島にあり社長、平野富二、資本金二十万圓、一株金五十圓、創立明治九年十一月營業、船舶其他諸器械製造の事務

(私立)石代工場 淺草區北元町五番地持主石代重兵衛資本金五萬圓創立文久元年二月營業遺療器械の製造及び販賣の事務

有恆社 日本橋區蠣壳町三丁目十二番地社長中野靜衛資本金十萬六千八百圓創立明治七年八月營業洋紙各種製造販賣事務

醱酵社 麹町紀尾井町頭取金澤三右衛門資本金八萬圓一株金百圓創立明治十一年十月營業櫻田ビール製造販賣事務

發動器製造會社 芝區愛宕下町三丁目一番地社長由良守應資本金廿萬圓一株金五十圓創立明治廿年營業發動器の製造及び販賣事務

馬糧商會 神田區今小路一丁目會長關口兵藏資本金五萬圓創立明治廿年營業馬糧品一切販賣事務

(有限責任)日本郵船會社 日本橋區南茅場町十六番地社長森岡正純資本金一千萬圓一株金五拾圓創立明治十八年九月營業内外航海旅客乘船荷物運搬等を爲す

日船鐵道會社 京橋區木挽町六丁目拾番地社長奈良原繁資本金二千萬圓一株金五拾圓創立明治十四年十一月營業品川、赤羽、上野、高崎、前橋、大宮、阿久津、白川青森を経て盛岡に達する鐵道、乗客、荷物、運搬の取扱ひを爲す

日本セメント會社 本所堀江町小名木川五番地社長橋本辰三郎資本金五萬圓創立明治廿一年一月營業セメント製造販賣の事務

日本運輸會社 日本橋大傳馬鹽町十二番地社長箕田長信資本金五拾萬圓一株金五十圓創立明治廿年三月營業海陸荷物運輸及び物品保險爲替等の取扱ひを爲す

日本郵傳會社 全區小傳馬町二丁目十六番地社長小川久三郎資本金廿五萬圓一株金五十圓創立明治廿一年營業奧羽信越四ヶ國の荷物運搬一切の取扱ひを爲す

日本製帽會社 小石川區小石川町社長澁澤榮一資本金十萬圓
日本坑油會社 深川區西町三十四番地初鹿野市右工門資本金廿萬圓

日本驛傳會社 京橋銀座一丁目發起人飯山正秀資本金百五十萬圓

日本製粉會社 深川區八右工門新田社長志摩萬次郎資本金廿萬圓
 日本煉瓦製造會社 日本橋區濱町三丁目社長池田榮亮資本金十五萬圓一株金百圓創立
 明治廿年十月營業煉瓦製造并に販賣事務
 (有限責任)日本織物會社 全區本石町二丁目社長佐羽吉左工門資本金五十萬圓一株
 金五十圓創立明治廿年十一月營業織物製造及び販賣事務
 (有限責任)日本石炭會社 京橋區本八丁堀五丁目發起人吉田千足資本金貳十萬圓一
 株金百圓創立明治十九年十月營業石炭製法及び賣買に關する一切の事務
 (有限責任)日本物産會社 全區龜島町一丁目社長大澤尹偉資本金三十萬圓一株金五
 十圓創立明治廿年二月營業事務寒天製造及び販賣
 日本熟皮會社 全區金六町一番地理事長西村勝三資本金十五萬圓一株金百圓創立明
 治廿年十二月營業事務日本生産の獸皮を製して海外へ輸出す
 (有限責任)日本會密製造會社 日本橋區小網町三丁目社長水原久雄資本金五十萬圓

一株金百圓創立明治廿二年營業事務硫酸曹達其他の藥品製造及び販賣
 (有限責任)日本綿調帶製造所 四谷區内藤新宿北裏町社長本木小太郎資本金二十萬
 圓創立明治廿年 營業事務綿及び帶を製造す
 日本メリヤス製造會社 北豐島郡王子村社長宮部文資本金五萬圓營業事務目利安製
 造并に販賣
 (有限責任)日本食鹽會社 京橋區銀座一丁目委員飯山正秀資本金七十萬圓營業事務
 食鹽製方及び販賣
 (有限責任)日本製糶肥料會社 日本橋區小網町二丁目脇坂助右衛門資本金廿萬圓
 (有限責任)日本土木會社 京橋區館屋町社長大倉喜八郎資本金二百萬圓創立明治
 廿年三月營業事務土木工事の請負を爲す
 日本屑繭紡績會社 神田淡路町二丁目委員吉田千足資本金廿萬圓屑糸紡績及販賣
 日本用達會社 日本橋區橫山町三丁目西村一影資本金五十萬圓營業事務諸官省用達